

頬 梅 漢

1998年 4月 10日 第1号 発行責任者: 楠野

○のはなしとがびょうのはなし

ある本に「最近の子どもは ○が書けない」と書いてあった。一瞬、「??」と思ったがよく読んでみると「なるほど!」と思った。その根柢のひとつは、「物事をきちんと見ることができない」ということ。もうひとつは「手先が不器用できちんとした○が書けない」というもの。それから最後は「○は書けるけどそれが小さかたり、紙の端っこしか使えない」というものでした。

そこで実際に書かせてみた。案の定、そうだった。○が歪む。小さくしか書けない。子どもたちの物の見方は今、どうなっているのか。

手の中にがびょうがある。
僕はそれをいじくりまわしてみた。
針の先に触ると少しチクッとした。
変な形だ。
けっしてにぎりごこちはよくないだろう。
にぎってみたことはない。
にぎると針がささるから。
僕は痛いのはいやだ。
だから手の中でいじくりまわしてやる。

人、それぞれに物の感じ方は違う。だから考え方も違う。
そこで、手元にあた「がびょう」を1個ずつ渡し、それをじっくり眺めて詩を創ってもらった。

いやな音
黒板をつめで
ひつかくと
いやな音がする
がびょうで
ひつかいても
いやな音がする

福田智栄

麻美も智栄も俊介も
裕哉も正智もみんな
もっている色が違うの
だ。色も形もにおいも
何もかも違う。だから
こそ、学校は楽しいの
だ。

がびょうは
回すと回る
須田裕哉

今の自分のようだ
まがったがびょう
何度も何度も壁にさされて
ぬかれてさされて
だんだんだんだん
まがってゆくがびょう
谷川正智

みんなそれぞれ違う。違って当たり前だ。
そこから出発しよう。こんな当たり前のこと
から出発しよう。こここの所をしっかりと確認
したい。

なぜなら、学校は金太郎飴をつくる所ではないからだ。同じ価値感をもって、同じ腹をした人をつくるのが学校の役割ではない。「がびょう」ひとつ取ってみても、こんなに感じ方が違うのだ。

このことを出発点に
したい。これをきち
んとみんなで確
認したい。1つの
考え方や物の見方
に固執することなく、もっと自由に
発想させたい。
感じさせたい。

が
び
よ
ー

が
び
よ
ーの形は
かさのようだ
阿部俊介



左の詩は、どんな意味があるんだろう。
先生は昨日から何度も読み返してみた。
だが何度も読み返しても悩んでしまう。
今の中学生の心境が述べられているのか、それとも個人的な心境なのか。先生の心に突き刺さってなかなかぬけない。



「みんなそれぞれ違うのだから、みんな好きなように勝手にやればいい」と言っているのではない。逆に、「違うからこそ何かを契機に結び合わなければいけない」と言いたい。異質な者同士が一つの場所に集まって、何かを契機に結びつく—そこでは当然意見の対立や考えの違いの交流が行われるはずである。それが「学校」なのだ。

(担)

頓 刃 漢

1998年 4月 14日

第2号 発行責任者：制野

日記 第1号より ~何を書けばいいか?~

4月13日

今日は、いやな事が、たくさんあつた。
まず、授業中に、ぐだーとしたが、こうをしてただけ
寝ていたと言われた。なぜこんながこうで…
もう一つは、委員会で、もりやり副員長になってしまった。
最後は、クラスの班で、これもまた、もりやり班長になってしまった。なぜ僕だけ…

喉部補藥

昨日の帰りの会は散々だった。みんなからは「ねでだ~!」と言われ、それに対して祐輔は「ねでね~」。でもこの日記からすると「ぐだ~」としてたのは確かだ。なんで「ぐだ~」ってなるんだ。

4/13 爰川正智 まいへんを1日

今日が2年で最初の日記だ。今日は、朝からいろいろなことがあつた。1時間目に席替えがあり、その班で仙台に行くことにもなつた。ぼくは班長になつた、ついでに4時間目に、班長の係長にまでなつてしまつた。あんまり今は自信がない。他の係の係長は、4人のうち3人が1組気れも、掌席番号順だと、12(武)13(高)14(図)となつてゐる。しかも男だ。これに2組の譲り、係長のメンバーだ。このトクで自取研修がうまくいくかは、とても心配だ。 まわり

よく並んだもんだなぁ。これを読んで先生も少しだけ不安になってしまった。
みんな無事に帰ってこれるか。成功のコツはまず「リーダーがしっかりすこ
とだ。残り1ヶ月、先生が鍛えてあげよう。

4/13 (月) 阿部 ひみ

「N○、クラブday」について思うこと?
今日は、部活がなかった。私は、はじめ、N○クラブdayの意味がよくわからなかつた。それに、なぜその日があるのかも。。はじめは、わからなかつた。説明されて、なんとなくわかつたけど! 私自信では部活をやりたい。体を休めるのも大切だとけど、私は、N○クラブdayが"なくてもいいと思う。私個人では、部活は楽しいことは"かりで"はないけれど"フレーをしていて楽しいし、部活の中で"小回り"もするけれど"それがあるからいいのかかもしれない。部活が、くらいな人も中にはいるけど! 私は女子まだ1年生が入ってきたら、今以上にがんばりたい。でも、私も、いやな時はあったし、そんなふうに思う日が1人1回は必ず来るような気がする。。。」

END

先生は ひとみの 気持ちが よくわかる。クラブ大好き人間に とっては、「ノークラブデー」は 不必要かもしれない。でもね、先生はこう思う。

- ① 土・日は練習や試合で使われることが多い。生徒も先生も疲れている場合が多い。
 - ② 最低でも週1日は完全休養日がないと「ケガ」の原因になる。できれば2日はほしい。
 - ③ 学級や学年で使う日も確保したい。

こんな理由で「ノーケラブデー」が復活したんですよ。

卷之三

卷之三

何を書けばいいんですか？一日記を書かせるとまず“こんな質問が飛び出します。題材は自分で選ばなければならぬのでかなり大変です。そこでとりあえずは、①(1日の生活の中で)感動したこと、心が揺れ動いたこと ② 気になったこと、心にひかれたこと、③文句や不満 etc. こんなことから始めたらどうですか？今日のひとみの日記はとてもわかりやすいし、おもしろいと思うな。

頬 悅 漢

1998年 4月 20日

第3号 発行責任者: 利野

ブルーな1日とブルーな人

4/17(金) 佐々木広輝

題 ブルーな1日

今日は髪の毛をバサリカッセ、て学校へ行きました。

三時間目の体育の時間髪型がき、かけひニコのアタマガハナ。

一つは丸刈りで、もう一つはモンキーハン。

ちょっとショックだった。体育が終り階段を登りながら。

今日は、ブルーな日だなーと思、ていきました。

どうしたら今日は本当にブルーな日だ、た。

四時間目の社会の時間に大切な所をブルーで書いていたし、

靴下の色もブルー、外靴化もブルー、おまけに体育着の色までブルー。

でも、こういふ日もある、でもいいなーと思、入れた

個人的には今の髪型の方がすきりしていいかなあ。ま、それだけみんなに注目されてる、ことだ。ブルーな日もあればピンクの日もある。

4/14(火) 部活ができない

宮崎真弥

僕はきのうの夜から少し腰が痛かったのですがなくもきにせず、ねむりました。朝、起きたらなんともながったので「なあつたのかなあ」と思、いました。でも、1時間目の体育の時間、走っていやう、腰がまた痛くなったりやばいなあと思っていました。それから、2時間目、3時間目と行くにつれてだんだん痛くなくなってきたので「部活はできる!!」と思、いました。

そして部活の練習が始まると、ダッシュなどをしていました。

途中にターンをするダッシュがあつたでそれをした瞬間、腰がクギ……「こ、腰が～～」その後はキップテンで言、

練習を見学しました。他の人の練習を見ていると体がムズムズして練習をやりたくなってきました。だから、早くなみして練習をさいかしいです。
終わり

腰は読んで字のごとく、体の要だ。「月」はにくづきと言、て体を意味する。「要」とはかなめと読み、大切なところという意味だ。腰を大事にして下さい。

4/17 今日の体育で 賢一

(金) 今日の体育の授業でリレーをしました。

どう走、とうまかうかに勝てるか考えた。
そこで…わが、たのだ。

はじめの何歩かを早くする。もう一つは
※1次からは図で表します。



(スタート) 5.0 m (ゴール)

木目子かぎのようにしてきたら



上のようになると勝てる(たぶん)。

なかなか鋭い指摘だ。授業を受けてない人はちょっとむずかしいかも。
「50mを2人でつなぐ」ただこれだけの課題なのですが、なんのなんの奥が深い。賢一のように深く探ることはとても大切なことだ。

この間、ある先生に「今年は“どんちゃんかんだね”と言われた後、「なんでどんちゃんなんだ?」と聞かれた。「やっぱ“どんちゃんかんなやつを大切にしなきゃ」と答えたら、「へえ~」と感心してた。

クラスには気のきく人もいれば、ほとんど気のきかないボーッとした人もいる。39人には39人分の色があることは第1号で言った通り。

「じゃ、みんな勝手に自分の色に染め上げればいいじゃないか」となったんじゃ意味がない。色というのは相対的なもので、他の色(いろんな性格や気性のこと)があるから自分を映える。どんちゃんかんな人がいるから気のきく人が光る。気のきく人がいるからどんちゃんかんな人のおおらかさや人間味がわかる。どんちゃんかんをクラスの宝に。そんなクラスがいい。(想)

頬 恋 漢

1998年 4月 21日

第4号 発行責任者: 刈野

「大人」になれた人と「相变らす」の人

4/20 (月) 宇都宮エリカ

1年生

今日、部活動に行け、1年生が来ました。見学なくて本当に入部したみたいですね。川内部は10人入ってきました。

2年生の方が多めで先輩ばかりである

1年生です。今日おしゃべりとアッフの声をたくさん聞きました。今後のことをカクモレも、基本を身につけられないから、たり自分でやつてもあるのでまんぢゅうをしました。あの教え方で覚えておりえるがいい自己です。リモコンで1年生に「さとうかり」と言わされました。2年生の明るいのは顔を覚えてくれたんだかなあと思ってうれしかったけど、少し恥ずかしくも思つた。

エリカもいよいよ2年生だ。「エ～、ウソ～！」って感じだが下級生から「さようなら」なんて声かけられたらやはり2年生になれたんだよな。

4月17日(金) 頬田裕輔 気合

今日は、3時間目に体育があった。休憩時間のさがえるときに、ソーダのスポンがなくて上のガムがあった。しばらくは刈野君のスponをはいてやらうとしたが、となりのA君が始めたほうへんじやねえのといわれたので、まくはったん(?)んでやることにした。それから

17日は相当寒い日だった。はじめは「しようがない」と思っていたけど、時間がたつにつれてだんだん、気の毒になってきた。みんなは「気合入てんな」と言ってたけど、本人はそれどころじゃなかつたんだ。

4月20日(月)

今日は午後の4時から、ひしぶりに、家のやねうらべを歩いてみた。

いたゞ、くものすと、虫が、あーた、なーほん、くのすにひっかかるてしまつたが、かくらうでんとうをもつていたからなんのそれがやがつた。でも足をとめてこんだ。

ヤンピらしい。“頭かくして尻かくす”屋根裏に入り込んで何やらごそごそやてる裕哉の姿を想像すると、背中に寒いものが走る…。

4/20 担当 すず"スケ

<初めてのような日記>

今は夜の11時。ちくうび“スマスマ”が
あわったところです。だからねむいのです。

今日は、二年生初めての日記を書いて
います。担任が刈野先生と分かった
時からすでに日記を書く“かくご”を
していました。(ベテランでも日記はこあり。)

刈野先生は『日記を書いて下さい…』と
言ってきた…。しかも是處をつけると言ってきた。
(さすがのベテランも日記にはついたことはない)
だから“初めてじゃないよう”で初めての日記
なのだと…。

「担任→刈野先生→日記」何と素晴らしい癡想。ここまでくれば裕輔はもう家族も同然だ。先生のこと全々知り尽くしている。しかも、題つき。これにはさすがのベテランもまいただろう。先生は君たちよりもパワーアップしている。君たちはついでこれるか?

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

日記を読むといろんなことがわかる。日々の成長などと大それたことは言わない。ただ日々の生活がよくわかる。エリカが下級生にあいさつをされて恥ずかしかったこと、裕哉が屋根裏で何やら怪しいことをしていること、裕輔が担任の名を聞いて覚悟したこと etc。だから、日記はやめられない。おまけに昨日から父母の間をまわす子育てノートも始また。親が何を答え、何を伝えようとしているのか…先生も一人の親として議論に参加したい。だから君たちも言いたいことはどんどん言いなさい。書きたいことは書きなさい。それができない学級であれば、それまでだし、そうならないように担任は努力する。

(担)

頬 梅 漢

1998年 4月 23日

第5号 発行責任者: 利野

しきりしなきやなあって思うんですけどねえ…

4/20(月) 担当 → 幸恵
もり、春はねだ"けど"…。

今日は朝からあ。たがくい、イレザーなれり
もがいりなれいじやなれいがなれ、て感じでした。
暖かくなつてくるのはいいけど、このごろ、上く
つがれてるような気がします。イカツも、このごろ
いはよい重くし、50分授業、それから、じゅくか
れる日は、もがくす~。としてるところが多いです。
うととなりの人を見ると、テオスト連れで、
いをりい自分もや、たり…。たまーにあります。
2年生なれだから、いつもこうだったら、大変です。
しきりしなきやなあって思ひうりですけどねえ。

の話

こういう日記を読むたびに先生は胸がしめつけられる。なぜか…。
昔(と言ても15年くらい前)は、少なくとも先生の周りには塾などなか
た。あつたのかもしれないが、先生の友だちで塾に行っている人は一人
もいなかった。だから先生の実感として塾がどんなものであるかというの
はわかりません。そんなに田舎だったのかな? (それは言えるかも…)

地球上で人間が平等に与えられているものは、「時間」と「空気」く
らいなものか? いや それとてもやしい。幸恵の日記を読む限り、そう
思わざるをえない。いろんな社会条件によって「時間」も変化する。上
の日記はそれをはっきりと示している。

ある教師はこう言うだろう。「時間の使い方を工夫しなさい。」また、ある教
師はこう言うかもしれない。「時間なんてあるようがない。とにかく、その時、
その時を精一杯やることだ。」そして、極めつけは「そんなこと考えるヒマがあ
るんだったら勉強しろ!」か。

いずれも左のような日記の前では説得力がなくなる。中学生が必要とする時
間が圧倒的に少ないのでないか。自由に使える時間が少ないのでないか。
目の前をただ無意味に情景だけが過ぎていっていないか。

当然、反論もあるだろう。「家ではTVばかり見ている」「TVゲームばかりして
いる」「マンガやビデオに夢中になっている」etc. 文句のひとつも言いたくなる。

しかし、このような傾向が「自分の自由に使える時間がない」ということに対する暗黙の反発あるいは反動と考えられないか。または、「必要とする時
間が少ない」という現実からの「逃避」なのではないか。そんな感じがする。

TVやビデオ、マンガやTVゲームに夢中になるのはなぜか。「生活」を見直す
第一歩としては意外に重い課題かもしれない。君はどう思う?



"思い込み"はキケンの話

先生は毎朝、2才と5才の2人の娘を車
に乗せて、保育園まで送るのだが、上の娘
は必ず絵を描く習慣がついている。最近はエンピツと紙さえあれば幸せそうな
顔をして絵を描き始める。

さて、昨日の話。いつものように紙に何かし、絵を描き始めた。(上の絵)。
「さき」というのは妹で右側にいる足の長め、眼鏡をかけた人物が先生だ。
娘: ほら、さきちゃんとお父さんの絵だよ。

父: 結(ゆい)ちゃん、絵上手になったね。きれいなお花ももてるね。

娘: …。

父: ???

娘: お父さん、これ手だよ。

父:



思い込みで話をするととんだ薄い方に落ちることがある。

(拙)

頑 強 漢

1998年 4月 28日 第6号 発行責任者: 刑野

刑野先生、元気ですか?

4/27

ひとみの期

刑野先生、元気ですか?

私は、今、帰ってきて、この日記を書いています。
この二週、やっと、学校は活動になれてきて、楽しく、
学校生活をおくっています。

部活動は、毎日、大変ですが、楽しいですよ。
バレーの練習は、大変ですが、楽しいです。
体力がいいとか筋肉トレーニングが、すごく大変です。
とくに、テニスが、

45分、3kmは、走っていると思いまよ。

タイヤ、毎日はがして、いよいよ、4日間で、1分タイヤ
がよくなりました。今から、駄目で、れまよ。(笑)

でも、バレーやりたいから、がんばってみようと思います。

刑野先生、秋生先生と、変わった事は、がりしないで下さいね。
体に気をつけながら、がんばります。

私が、20才になつたうら、お酒飲みにつれて行く、2Fで、
でも、変わった事はないで、ね…(笑)

PS. 2年1組のみなさん、刑野先生は、樂んでる先生ですよ。
PM 1:00

教え子から、こういう日記をもらうとは、思いもしませんでした。嬉しいなあ。
すごく頑張ってる様子がわかる。先生も、おたおたしてられないなあ。こういうのを読むと、何か、ふつふつとエネルギーが湧いてくる。

今、上の娘は毎日朝、石巻駅が AM 5:28 から 6:14 で、行きます。
帰りは、早く P.M. 9:00。遅いときは P.M. 11:30 に帰ります。
はじめは、ものすごく不安でしたか。まわりの人達の方が借りながら、
前向きに頑張っていらっしゃると思います。

ひとみも、前よりも、いろんな事を手伝ってくれるようになりました。
子供達が大人になった時、いろいろあって、けど頑張ったよ、
言えるような中学校、高校生活を送らせてみたいと思います。
親子ともども、よろしくお願ひ致します。 ひとみ

4/17(月) 直人 <万中5周年>

今日は朝に開校記念式が行なわれた。

その式の話の中で僕のいた席を付いた講師は「明日は君が
今日は来ない」と言う言葉だった。

僕はだからこそ、「努力」と言う言葉があるように思う。

元の努力を毎日少しずつ重ねていき、そして、何事にもづくり
のないようにしていきたいと思います。

ひとみさんのお母さんの日記と直くんの日記。何か重なるものがある。
先生のモットーのひとつに“若い時にしかできない事は若いうちにやる”
というのがある。若いうちからベテランのような立ち居るまいはしない
ないし、もともとできこない。でも、中には若いのに妙にふけた人とか、
ものすごく合理的に(するがしこく)行動する人がいる。

まゆみさんも、今しかできないことを今やっている。2度と戻らない今日
という日をめいっぱい生きている。いろんな経験を自分の血や肉にして、
精神的に肥えようとしている(くれぐれも体ではない)。

誰だって、後から“ああすればよかった、こうすればよかった”と思いたくはないはずだ。ひとみさんが、バレーボールに熱中することだって、直
くんが生徒会の活動を精一杯することだって、そんな思ひがあるからだ。
いくら物事が満たされても、心が満たされなければ、生きた甲斐がない。
反省は人を育てが、後悔は人を育てない。

“若い時の苦労は買つてもしろ”皆、苦しいことから逃れようとしてい
ないか。今しかできないことを放棄していないか。再考を促す。(想)

頑 紗 漢

1998年 5月 2日

第7号 発行責任者: 利野

お父さん、子育て日記書いてみませんか？

5/1 (金)

PM 7:00 「たたいま～」

(妻) 「あからりーながりり!! 寝顔」 (子育てノート)

(ワシ) 「ゲ」

妻 「あんたが書けばまるくあさまる」

この一言で今ビールを飲みながら書いています。子供達の日記＝学級通信は、ムスコが一年生から利野先生のクラスだったので毎回楽しく読ませてもらっていました。(でも親の通信ノートがあるとは思いませんでした。)

この学級通信から子供一人々の気持ちや行動が手に取る様に分かり、皆、明るく学校生活を送っているのだなと想像しております。

このクラスには、無縁な事とは思いますが、子供が非常に走る一番の原因は親の不和が発端と言われてあります。しかし、子育ては母親の仕事と思っている「おとうさん」が非常に多い。

利野先生のクラスの「おとうさん」たまには子育て日記書いてみませんか？

そして、子供達を見守っているのは「おとうさん」と「あかあさん」など。

利野先生「頑 紗 漢」樂じていますよ。
さか元の父

4/29 (木) 広光軍

お母さんと対決

利野日記をお母さんに貰まれた。火曜日の1時間目の体育が辛いのは、月曜日の夜スマスマを見るから寝不足だみ、おまけに火曜日の朝は、食欲もない。たゞ火曜日は、9時に寝ること、火曜日の朝は、ヨーグルトだけがうはんとする」と、今日言われた。でも僕はお母さんの方が早く寝るのでスマスマは見れると思っている。この対決は僕の勝ちだ。

この前日、広輝は日記に「火曜の1時間目の体育はつらい」と書いていた。それを読んだお母さんとのやりとりがおもしろい。軍配は広輝に上がるのか。続きが楽しみだ。来週に期待しよう。

4/28 (火) 学級委員をやって 絵理

私が学級委員に決まった時、私はうれしいようで半分、嫌だという気持ちでした。学級委員になれば、合同朝の会の計画立てや、中央委員会、それから学級をまとめるという大事な役目だからです。でも、今、学級委員をやってみてよかったです。私が思っていたとおり学級委員は大変だけでも楽しこともいっけいあり、けっこう楽しくやっていくことができました。学級委員は2学期の後半までだけど、学級の人には“こんな人を学級委員にしなければよかつた”と思われないように、自分なりに一生懸命頑張っていきたいと思います。

臣田

選んだ方の責任も大きいよなあ。任せっきりではよくない。責任はみんなで分担すること。これができなければはじめから選ぶ権利はない。最後はみんなで絵理を泣かせよう。泣かせたらみんなの勝ちだ。

栄くんのお父さんの文章を読んで思わず、ニヤッとしてしまった担任です。内心(待ってました!!)とほくそえんざいます。世のお父さん方の中には、子育て＝母親の仕事と思っている人が少なくありません。お父さん方、それは大きな間違いです。一生のうちで子育てに関わる時間はごく限られています。お母さんまかせになつていませんか？ (12)

頬 梅 漢

1998年5月7日発行 第8号 発行責任者 前野

"寝ぐせの話とは、とした1日の話"

4月28(火) 総合格闘会

今日は朝に、頭にねぐせができた。ほくは、何がつけかたよーと見て、たなよをしらべた。でもなよも見つかってなかつた。だから、水をつけてみた。でもやつはおりがあらかがつた。だから、ずっと手で拭きえた。

4月29(水) マンガ

今日は、オット、部屋にとじこもて、マンガをよんでいたや。さゆうに、たらしくなつてきた。たがり、歩き玉わつた。したらなまつた。たがりまたマンガをよんでいた。

4月30(木) カーボ

今日は、やつはおりねぐせがたつている。このところ毎日だ。なぜねぐせができるのか?

裕哉らしい日記だ。寝ぐせを直そうとして棚を調べた。だけど何もなかつたから水でぬらしたが、ムダだった。そして結局、手で押さえた。しかも、ずっと。翌日はマンガ。そしてまた寝ぐせ。どうしても寝ぐせが気になるらしい。もっとも中学生になっても寝ぐせも気にせずボサボサ頭でくる人は最近は珍しいが。

今はムースだの何だのと寝ぐせを直す商品がたくさん出てるから便利だけど、昔はそんなものはなかったから水でぬらしてくつか。そのままくるかだった(中にはグリースなるものをべつたりとぬくくる不良はいたが)。

裕哉らしさが全面に出てて、思わず笑ってしまった。その笑った顔を見て、真奈美が笑、といった。異様だったに違いない。先生の

5月1(金) 『はっしゃした1日』

私は数学が苦手です。(女優がある) 今日数学マイテア勉強して改めて気がつきました。たとえおいても先生の話をよく聞かないけどおからなくなるしてまとまつてもやってくれる少年であります。せんせいはほっきりして整でテストをしたけがが裏さつ良から今小説トブリます。一耳聴たがけないかもうまたかことやるのいやだと思つたけど、私は中学生だけ角を強めかけは刻むけられません。たがり、完璧さに劣るおじいがつむれちうと見えます。劣れりかとまとめてものぞく、くわれりがりの私には努力が足りなかつたかもしだが。やる気も。これが1万自分10までしく、あやり1マタあります。けりかとばかりしてりきなりと思つた。

エリカの日記は1年生の時からずっと見てきたけど、この日の日記はいつものエリカのトーンとはちょっと違っていた。

先生は何度も読み返した。そして、ますます悩んでしまった。辛そうな様子がよく伝わってきたし、何で答えてやろうか悩んでしまった。

何で勉強しなきゃならないんだろう?思えば、先生も中学・高校とずっと同じような悩みを抱えていた。はっきり言って勉強(特に数学とか)は嫌いだったし、自分から進んでやつたと言うよりは嫌々やっていた。それに部活(陸上)に夢中だつたら将来のことなど何も考えずにただただ走っていた。勉強は二の次だった。だから好きな事に夢中になる気持ちは先生もよくわかるつもりだ。

じゃ、いつ本気になって勉強したか?それははっきり言つて"浪人"時代だ。国語辞典では、「浪人=①武家時代、主家を離れ、様を失つた者。浪士。②学校を卒業して上級学校に入れず、翌年を期して勉強している者。」と書いてある。②の意味がそうだ。

変な話だが、学校を離れてみて初めて"やる気"が出てきた。身分のない"浪人"という立場になつて初めて将来のことを考えた。現役の高校生時代には感じなかつた「社会」というものが、すぐ身边に感じられた。そして自分で本気でやれるものは何か、自分がやりたいことは何かを真剣に考えた。それでやつと魔力が湧いた。何がきっかけになるのかわからぬものだ。

だから、エリカ、焦ることはない。人と較べることもない。しっかりと足元を見つめてゆっくり進めばいい。人は自分のできる限りのことを精一杯やるしかないのだ。いくら背のびをしたてそれ以上、大きくも小さくも見えないんだよ。(背のびしても小さい担任より)

頬 も ら 漢

1998年 5月 12日

第9号 発行責任者: 利野

子育てノート、父親オ2号です。

5/6(水)

雁部

利野先生! はじめまして祐輔の文です。

又子育てノート 父親オ2号です。

連休明けで今日から仕事。夕食が済んでプロ野球を見ながら憩い時と思つたら、子育てノートを見てしまい和みにおはうが回り来ました。

「お父さん書いつけないのか！」と息子に向ひたところ
「どうせいいよ～」だ～。

さて！ ペンを持ちながら何を書こうか～。

子育てノートの1ページに書くと同時に「親」と親して
「親の想いを子に伝え、大人の想いや物の見方を子に伝える」

これが一番大事な事だとも思はれて。

親であり大人である私が「親」と大人の意味を良く理解し
子供に接していると見てます。子供達が学校で生活していく間

は利野先生が子供達の親として

次日は『祐輔の母』の番です。お楽じみに。

今この文章を見ながら改めて“重いなあ”と感じている。特に、「『親』と『大人』の意味を良く理解して」という言葉は。いずれ子は親を追い越していく。親としてはそう願わざにはいられない。「親を追い越す」というのは身体的にも精神的にも親を乗り越えるということで、親の価値感をも時には乗り越えなければならぬ。その時、親の価値感があいまいで何を考え



広輝母子の対決 Part 2～いつまで続く!?～

5/11(月) 広光里 お母さんと対決2

今日は月曜日、スマスマの日、今はPM 9:30です。

早く寝なさいよ」とお母さんは言ひながらやっと先に寝た。
これでスマスマが見れる、とホッとした。

では、ハイド探してテレビのリモコンがどこか。

“もしかして…”と思ひお母さんの寝ている部屋をのぞいてみたら
僕のテレビのリモコンがお母さんのまづもとにしゃがりとまってました。
テレビの本体で調整できるのを知らないで寝てお母さんを見て

「今日の対決も僕の勝ち!!」僕はうれしくなった。

いやあ、痛快だ。（と言つてはお母さんに失礼しか）敵もあはれだが、
広輝もさすがだ。スマスマに対する執念が感じられる。安心して床についたはずのお母さんにとって、これはまさしく悪夢かもしれない。なぜか知らないが、この対決が“いつまで”続くな楽しめた。

『～いるのかわからないというのでは困る。子どもが困る。独り立ちする時に困る。

だから、親は子どもたちに考えを押し付けるのではなく、伝えなければならない。たとえ、自分の言ふことを子どもに“それは違う”と言われても言う時には言わなければならぬ。いつの世でもその繰り返しをしてきたはずだし、それを放棄すれば親の役割を捨てる事になる。それが「親」として、「大人」としての責任だし、私もその責任を担っている。「親」にはなりきれないかもしれないが「大人」としての責任は果たそうと思う。



この間のGWに家族揃って盛岡（奥さんの実家）に帰ってきた。（行ってきた）
その車中、どういうわけか上の娘と“○○は野菜か、果物か”クイズが始
まりた。「父：バナナは？」「娘：果物！」「父：ピーチ、ホーン、正解！」などとい
う話をしながら楽しく北へ向かっていた。そして、

父：じゃ、「トマト」は野菜、果物どちらだ？

娘はしばらく考えてから、「お父さん、『トマト』はサラダだよ。」と答えた。

子どもの発想はいつの世も新鮮だ（相変わらず迷走状態のわが家です）。(担)

頑妙漢

1998年 5月 21日

第10号 発行責任者: 前野

お兄様からのお土産の話

5/15 土曜 お兄様

今日は、お兄ちゃんが修学旅行から帰ってきた。私は、お兄ちゃんからの、おみやげが楽しみでござった。

私のおみやげは、→サンリオからもらったキティちゃんのゲームと、いちご新聞だ。それから、三葉ニズショウフリにいってキーホルダーナ。はっきり言ってお金を使つたのは、キーホルダーナだ。私は思った。

でも、おみやげをかっこよくくれてよかったです。お兄様と感じた。

またそのあとがすごかった。

テレビの上においておいたゲームがねこの丸さばこの、水の方におこちたあげく、ひびき入った。めちゃくちゃおこられた。頭にさきた。

くそ兄貴

修学旅行のお土産を買ってくるなんていい兄貴だ。お金がかかる。いなくともその気持ちだけでいいじゃないか。物がどうのこうのじゃない。妹のために重いカバンを背負って東京から帰ってきたんだ。それだけでよしとしよう。悪い兄貴だ、たらお土産なんかそっちのけで、小遣いもってトンヅラしていたに違いない。

5/15 日野 単4

家に帰って僕は、テレビを見ようとした。

しかし、リモコンのどんちが使えなくなってしまった。そこで、ゲームボーイで使い古しのどんちと代えてみた。するとなぜかテレビの電源が付いた。使えないはずなのになぜか使える。そこで、リモコンのどんちをゲームボーイにやつたら、またまたなぜか電源が付いた。いいでんちだ。

先生が絶対売れると思う特許商品がある。それは電気の残量がひと目で乾電池だ。電池のわきにこんな感じで残量を示す目盛りがあれば、絶対売れる。それとももう売り出されてるか?

5/18 (月) きょりか

エリカ

今日は六時間目の後にJRC加盟店式会議がありました。やまおいのになつてしまつたあと鬼りつづもかんじあつていいリチを受けとりました。おわってほんとれていいリマのカレハケカガタのカ、木村長先生の話のときにリチをほたつと落としてしまいました。もう少しあれしてもかんじようしていいれはおさかたなあ。そのしゆくがんじみんかの注目を集められまつて思ひやす下を向いてしまったまくらのほすかしさでしゃ。

あの者はエリカだ、たんだ。かなりみんなの注目を集めていた。よくあるよな。人が集中して話してる時に、筆入れとか落とす人。先生が小学校の時、社会の時間に仙台空襲の話を聞かされていた。すごい話だったんでみんな静かに集中して聞いていたら、後ろの方で「ドタッ、バーン」なんて音がして振り向くと友だちが倒れて全身がけいれんしていた。びっくりして病院に運んだら、その人は何と椅子の背もたれに体重をかけて遊んでいるうちに、そのまま後ろに倒れてロッカーに頭を打つらしい。その時はみんなで「戦争の話でびび、たんでねえか」とか「何か変な嘘でもうつたんでねえか」なんて、変な憶測が飛び交ったもんです。どこのクラスにも1人はいるもんだ。

(追)

頬 珍 漢

1998年 5月 26日

第11号 発行責任者: 刑野

お母さん特集 ~幸せという島と注文の多い息子~

5/19 広輝の母

いつもお世話になります。何を書いて良いのか正直戸惑っています。
我が家は、三人家族です。三人で一つの船で漕いでいます。
家族が幸せにいられる島まで、自分で舟で漕いで行くのです。
三人が同じ方向を向いて漕がなければ、船は進みません。
誰かが漕いで漕ぐのをやめてしまえば、その場所に(?)止?寝?が
溜り込みそうになります。その時は残りの人々が「どうしたの?」と
理由を聞きます。どうしたら、「どうして漕がりましたか?
何が心配なのです。隠さず全部言うのです。

そして、「どう言つ時はこうしたら」とアドバイスしたり。
「何を手伝えよ事はない」と者を、自分であげるのです。
そしてまた、ゆくりと、ゆくりと船を漕いで行きます。
三人で力を合わせて、幸せという島まで...(舟を家でいいと言葉です)
でも實際には、「お風呂場で...洗濯物入で...つまり何を作った...などと
自分でもらっているのは、④親の二の私です。
嫌な顔をせず、広輝と主人は、いつも言つ事を聞いてくれています。

「幸せという島」いい言葉だなあ。人間なら誰でもがもつ究極の目標だ。
2の1はどうなんだろう。39人がみんなバラバラに漕いでいないだろうか。
たとえ漕ぎ方が違っても、目標に何かの志が1つならば、やがて船は「幸
せの島」へ何か始めるとはずだ。ただ中には疲れやすい人やあきらめの早

い人もいて、その時どうするかで学級の真価が問われるだろ。言葉だけの
思いやりや、支え合いは、いらない。本当の結びつきがほしい。

5/22

駒木裕輔の母

我が家でも先週頃から「お母さん来週来る」
今週になつながら「もう少しで来る」とじゅじゅとアレシヤーを
かけられてしまい、そして今日息子に1トを渡されまして。
私が1トを見ながら(何を書こうかな...)と思っていると
息子が隣で「お母さんあんまり上手な文章を書くと頬珍漢に
載せられるよ」「でもあんまり短い文章だと先生に失礼ですよ」
と次々にいろいろと話をしてくれるので、内心私は(やッタ~この会話
これを書こう)と思いつづら文は失礼ですか?などと
会話を膨らませていきました。「うへん、ほんかわがんないけど失礼だ」
と息子。私はこの会話を書こうかと一息子「ダメー、会話形式は
載せられない」私、「ふーんどうか傾向があるんだ?後は?」
息子「おもしろい話をダメー」

刑野先生 こんなに作文が得意じゃ書けないですかね。
だからこひ会話を書きまして。息子は自分で自分の言ふことを
一年間 よろしくお願ひします。

追伸: 私の書いた文章を見た息子は「載せられるで書いたら
載せられるよー」とまだといいます。おぎらぬ悪い息子です。

1年も一緒にいると「担任の傾向と対策」がすかり出来上がるようです。
でもそんなことでへこたれるような担任ではない。「載せられる!」とビビっている
裕輔にも容赦なくボディブローを打ち込むのが、今の担任の楽しみなのだ。
そういう意味で裕輔は墓穴を掘ったのだ。こんなに母子の様子が伝わる
日記が出てきたのも裕輔があまりにも「載せられる!」と騒いだからだ。今日は
先生とお母さんの勝ちだ。

追伸: 文章は短くても失礼ではありませんよ。できれば母子の会話や
お父さんやお母さん方が抱えている悩みなんかも出してください。

(相)

頃珍漢

1998年 5月 28日 第12号 発行責任者: 刑野

〈今日の1時間目(学活)のはなし〉

5/25 担当 すずえ

<毎時間?それとも移動前はダメ?>

今日、1時間目のときに"マニガ本などの使い方について言話し合った。(話しまくった...!?)

け、こうスムーズに言話し合いはすすんだ。

でも、"いつ使ってよいのか?"というところでいちじくな考へかでた。...聞きたい?

<ある班>『毎時間いいよ...』

<他の班>『昼休みだけだペサ!』

<この班>『移動か教室の前はダメです』

けっこう<ある班>と<この班>の考へがのこった...

そして僕は(僕の班は)<この班>の考へだった。しばらく対立(!?)していると"べし、か"なった。テンテンテンテンヘン

(学)『毎時間がいいので多數決にしていいですか?』

(全)『いいでし。』

というわけで<この班>の考へで決まった。しかし今考えてみると"毎時間"と言った班はみんなを信用しているからそんなふうに言ったのかな~と思う。ど、ちなのかな~。

提案には提案理由というのが必ず必要だ。だから<この班>の意見が一番説得力があるのだ。ただ「信用して」というのはあまり説得力がない。それならば"みんなで守ろう"と呼びかけた方がよほど説得力がある。

5/25(月) 書くことがない

三浦大介

僕は今とにかく書くことがないのでこまっている
どうしてかというと今日少し早いんじろにちぎっている
ことがないからだ。僕はこういう時どういうことを書けば
いいか分からぬだから書くことかななくてこまっている。
余呉わり

左の日記と同じ日に書かれたものだ。大介くんは実は左の<ある班>の一員であり、「毎時間いいよ...」という意見を発表した張本人だ。それなのに「今日深くいんじろに残っていることがない...」というのはなぜだろうか?他にもこういう人がたくさんいるので、今日はこのことについて考えてみよう。

確かに自分で題を見つけて日記や作文を書くというのは大変なことで、それは「子育てノート」を見てもよくわかる。ではなぜ題(主題)が見つからないのだろうか?

その原因の1つは観察力の不足だ。まず、物事をじっくり見つめる、そしてそれを自分の脳を通して(考へて)、脳に貯金をすることが大切だ。この物事をじっくり見つめる目というのが必要になる。ちょっとした人のしぐさや言動、道ばたに咲く草花の色や形、町並や道すがら出会う人々の表情、担任の一擧手一投足にいたるまで題材は五万とあるのだ。「今日1日、○○くんを観察してみよう」とか「○○の授業中の○○先生の言動を観察しよう」とか、自分でテーマをもつのもいいかもしれない。

それから原因として考えられるのは「表現」の問題だ。まず、はじめから「いい表現をしてやる」とか「うまい表現をしよう」などとは考へない方がいい。その最も簡単な方法は「事実を書く」ということだ。あたごと、経験したことそのまま書く。これが日記や作文では最も大切なことだ。自分の思いや決意を事実で語らせることだ。「かわいい花」というよりは「ピンク色の直径1cmくらいの小さな花」といった方が相手にはよく伝わる。事実は何よりも説得力をもつ。

日記は君たちの生活史そのものだ。その時、何を考へ、どう行動したか、どんな事実にどう反応したかが刻々と綴られている。学級通信「頃珍漢」はそんな君たちの心の成長を辿るひとつの成育史なのだ。学級としての力が育つ過程を象徴するのがこの「頃珍漢」なのだ。

(柏)

頑珍漢

1998年 5月 29日

第13号 発行責任者: 前野

〈“足”のはなしから考えたこと〉

5/18 阿部 ひとみ 足

私は、足をケガしてから、約2週間。

短いようで、私にとってはとても長く感じられた。

足をケガしてから、自分がやりたいことはやれないし、

行きたい所もいけなく、とてもつらい。友達には、いろいろ

手伝ってもらって、朝も、いつも遠藤望ちゃんにカバンを持てもらって、いろいろとめいわくをかけている。

私は、前まで、片足がつかえないことは、そんなに難しく

考えたこともなければ、こんなケガは一度もしたことか

なかった。だから、ケガしている人を見て、「大丈夫?」とか、かわ

いそうとか思つたけど、どんなに大変なことなのか、実際に

には、わからぬ。そんなに難しいことではないと思つ

ていた。たけど、この2週間で、それがどんなに大変な

のか、よくわかった。いつもにふつうのことができなく、

なにをするにも大変で、今回、友達の優しさ、大切さ、そし

て、足、体の大切さをあらためて感じました。

ひとさんの実感が語られている。松葉杖をつきながら廊下をピヨコンピヨコンと歩く後ろ姿を見ながら「ああ、早く治んないのかなあ」と思う毎日だ。五体満足で生活している時は、何とも思わない。段差や障害物が、一旦ケガをしてしまうと、それが生活の中でうんと大きな妨げになってしまっていることに気づくものだ。だから、ひとさん、今は本当に大変だろうと思うけど、いい勉強をしているはずだ。人の優しさや温かさに触れただけでも、神様に感謝しなくちゃ。この間、TVで高橋竹山(有名な盲目の三味線奏者)も言ってた。「目が見えなくても(目の見える人より)見えるものがある。」って。

どこなくひとみさんの日記と重なるところがある。

人の気持ちを理解する(わかる)というのは、すごく難しい。難しいからこそ、人間はそれを己の課題にすることができる。猿でもできることを、人間

はわざわざ究極の課題とはしない。その点、上の投書のように、他人の事を自分の事のように思いをめぐらし、行動するというのはできそうでなかなかできるものではない。なかなかできないから、それがまた人間に課された難題のひとつなのだ。中学生にも、その辺はわかってほしい。

健常人と障害をもった人では「生きる」ということへのこだわりが違うような気がする。「目的へ行く」という目的の意味が違う。この投書はそんな**地**必死な思いが人を育てるのだという意味なのだが、健常人が同じように必死になれば、もっと何かできそうな気がする。

また、字ばかりの「頑珍漢」になってしまった。そのせいかどうか、最近、右の手首がズキンズキン痛み、ペンがまともに持てなくなつた。今、こうして書いていても手首が苦しくて「ああ、これで俺の手も終わりだ…」などと考えてしまつて。ここ数年は「通信は絶対、手書きで出す」という方針でやってきたが、ここまで痛いと頭の中で「ワープロ」という文字がちらつきはじめてしまう。実際は手書きだろうがワープロだろうが伝えたい中身にさほど大きな違いはないのだが、何となく手書きに執着してしまうのはなぜなんだろう?

(拙)

頓 無 漢

1998年 6月 9日 第14号 発行責任者: 刑野

ああ、飽食の時代...ビシバシやりたいん
だけど...

6/8(月) 真美の母

今年生には、真美・アリス・連歌は「いの」。あとは
取扱方に、「頓無漢」が入る事で、迷込んでから
おもしろい事、くる先生たてゆく思って。(今までこいつら事からくる
先生いはからてもんじ)これほにと聞かに所毎回育に書いて
ゆりて載せるとんじよ。息子「お母さん、おもしろい」
母「うん、アリス、阿良、お腹がる時、見せてね。息子「お母さん、
お母さんからねー母「ほんと...? 息子「だつて育」トドくん」

そりへども内、口って来ました。うりを書こうかなか...
私が印象に残る、息子の会話をします。今年生には、最初
の頃から、何事からも喜んで来る子で、息子今日最高だ。母: お母
息子: お母さんで、お母さん(お母さんは慈やか様)先生に成るは
左脚展ベランダで、左脚展べらん、その話を聞いて
母: あへら、...先生じてゆき、お母さん、い、事、悪、事は、そ
して、真美には、どう、う、先生で、ほんと、め、しつかり、頑張りはう。
父: は、部活が楽しくて、夢中で、息子と同じで、母: ハイハレ
上: 夢中ですが、イヤがひは、様に、かまに思ひ込みはるようには...
さんは頑々ですが、先生、身自、タビレ、樂しく、ビン、パン
シ、直しくお贈り致しヨリ。(明日真美が、あさごま、ゆふくわく、お配
おやすみはう、PM 10:00)

給食の残食が多い。びっくりするくらい多い。この飽食の時代の中で、子
どもたちは好きな物が自由に選べる。その逆に、嫌いな物は選ばなくて
もよい。選ぶことができない給食の方が悪いのでしょうか。

(時代に合わないのか)

気づいてました? 先生方のくせ~須田先生へ~

6/6(土) 英語の時間に... 阿部麻美 (あべまみ)

今日、せんてせんて! ... ちつ須田センセイは、いつものように、"はいよー、
stand up!!"(外人発音)といいて 教室に入ります。やう! いなぎのよ
うに...。そして私は1年のときからになっていた。気付いていた"須田
センセイの"はいよー、"って何だろ?"というミソチが1日牛氣になつて
いました。(何故か) はいよーって... 気合? (よくかんな日本語でスマセ)

6/8(月) 病院で... 阿部麻美

今日は、眼科にひってから、耳鼻科にひましました。
耳鼻科で須田センセイが、なにやら子供に本をよんで"あげ"てひま
した。そして、ひまに座って待つていたら、須田先生の子供の次に呼んで
れて、「あ!、こんにち1大...」といつたら、おの高い声で「あらー何ア?
か」と何ア? と聞いてきました。眼科で2時間待つて、ついで
「...ちよ、て...」。"おわせました。何た"を知らないか 变な顔だった。

最近、日記には「先生たちのくせ」シリーズが続いている。これがなかなか
楽しい。その中でも奥田先生編はなかなか読みごたえがある。これは次
回、紹介しよう。

ところで、上の「はいよー」について須田先生に聞いたところ、「はい、始
めるよー」という意味だそうです。他にも須田語録があるので後で紹介
しよう。

8:30 8:30 8:30 8:30 8:30 8:30 8:30 8:30 8:30 8:30 8:30 8:30 8:30

今日、この1は1時間目にプール掃除を行いました。例年と違って
水を完全に抜いたため、底には泥というか何というかすさまじくのろの
ろ、ぬるぬる、べったりした得体の知れないモノが全面に広がっていました。
臭いもすごくて生臭さに加えて鳥が運んできた魚の骨や羽根などがまじ
た何とも言えない異臭がただよっていました。

その中を男子はデッキブラシ一丁持つて果敢に飛び込んでいきました。
カレーのルー状態のその得体の知れないモノを見ながら、「カレーだ、カレーだ」と
喜んでいる和正くんの顔がとても不気味でした。

(相)

頑 め 漢

1998年 6月 19日

第16号 発行責任者: 利野

くやしい話とやさしい話

6/13 (土)

中体連で
(中継体)

ひとみ

今日は中体連だった。大会の役員の人たちや、知り合いの親の人たちみんなに、「足大丈夫か?出れなくて残念だ」とひとみは来年もあるからよかったです」と、聞きあきるほど言わされた。たしかに最後の中体連じゃないからよかったですと言えば良かったかもしれない。しかし、私はみんなが言うその言葉に少しも立っていた。この地区中体連で負けてしまったら、もう先輩とフレーグルできれない。今まで「いっしょにがんばってきて、時にはさびしく、時にはやさしく、おもしろかった先輩と。ほかの人にはわからぬ先輩のこと。自分の時の中体連に出れるから、勝てたからいいんじゃない。私はもう一度先輩とがんばりたいの!」。

本当にそうだ。「今この時を精一杯やりたい」「先輩たちと一緒にやりたい」ひとみさんの本音は本当にその通りだ。でも周囲はそのことに気づいていない。だからひとみさんが腹が立つのはよくわかる。

クラブはみんなで創るもの。一人だけが頑張って創るものじゃない。だから一緒にやってきた先輩と最後にやりたかったのだろう。

でもね、ひとみさん。そういういろんな思いを含めて、これからできる新しいチームで同級生と、そして後輩たちと「夢を実現する方がずっと素晴らしいし、嬉しいはずだ」。“倍返し”というやつだ。応援してくれた人たちもたぶんそんな思いがあたと恩うよ。神様が与えた試練だ。神様は試練に耐えられる人にしか試練を与えない。

6/15

手

俊介

今日家でがっている犬を病院につれていった。そしたら、病院の先生の手がきずだらけだった。そのきずはたぶん犬かねこにかまれたきずだと思った。病院の先生は手をかましてもその重力で力をたすけたいと思ってやっているんだと思った。

いい日記だ。先生の手を見つけた俊介くんの目、そこから考えたこと…俊介くんの優しさみたいなものが伝わってくる。手には人柄が表れるが、日記には“人間そのもの”が表れる。いい日記だ。

6/17 真奈美、女

いつもお世話をありがとうございます。

朝は5:30帰りは20:00とほとんどコミュニケーションのとれるない親子ですか。私の夫はやっとこの時間帯に帰れて来つつあります。毎日々子供にはがんの生活ですが私が会とてすぐわふくい子は、どんなに朝早く仕事をしてアパートのベランダから毎日「いいからしゃべり」の手をひいてくれる真奈美さんはからです。子育てノートをしていますが反対に夫のほうにすぐてもらっています。女ばかりの家ですがうまい子供達にかまけて明日もがんばろうと思う今日このごとです。

ノート一日がくれてしまふこんな感じ
これからもよろしくお願いします

仕事から帰ってきて、たぶん疲れた体で書いてくれたのでしょう。それだけでも何か娘に対する思いが伝わってくるのですが、内容も心打つものがあります。朝の5:30と言えば他の子どもたちはみんな寝ている頃です。真奈美さんはきちんと見送っています。お母さんの後ろ姿を見ながら“今日もがんばってね”と訴えかけているようで、何か清々しい感じ(というよりは神々しい感じ)がします。

生活は家族みんなで創るもの。支え合いが次の日のまた次の日のエネルギーを生んでくれるのです。

(註)

頬 梅 漢

1998年 6月 22日

第17号 発行責任者: 前野

初めての自分との出会い

6/21 手担当 すず"スケ

<がんばるや~!>

あ、しは、かなり感動しています。

(別にドラマを見たわけじゃありません)。

今日、スネ、初めて勉強できましたんで"すよ...
予定通り...。今まで一度もこんなことをしたことがなくてねー(泣)。

こまなんどなく、スネ....

"初めて気持ちだけじゃなく、実行できました。=って感じで...スジで初めてで"..."。

た"から あ、しはがんばりやす。

今日の努力をわざわざおいためにも...。(完)

カントウハイ、カットー! がっかせさん!

マネージャー: はい、ピール

④ あ、どうも... " ク、 ケウショーハ。

こういう日記を読むたびに“ああ、やっぱり子どもは成長してるんだなあ”と思う。今までの自分から一歩脱皮して、新しい自分が誕生していく。今はその脱皮を何度も何度も繰り返して大人に近づいていく大事な時期だ。いつまでも古い皮を身にまとっていたのでは、成長できない。今まで脱しきれなかた昔の自分に別れを告げ、新しい自分、会ったことのない自分に出会う旅が青春期なのだ。

チャレンジ精神を忘れるな。そして、先の見えないこの道を決して恐れるな。どんどん新しい自分と対面しなさい。

6/21 (日) 手担当 サンヒコの日

今日は主のうちにひまづづきテスト勉強のことを書きます。朝のうちに国語と数学をしました。そしてお母さんに「問題だして」といってたら、ました。(1ヶ月 - 1ヶ月) 国語は漢字と数学と計算をしたり、をたしてもらいました。① → 「もしぜんぶあたたかく雑誌買つてねー」 ② → 「九、いづれで買えだ、まだおいづりか!」 あるねでよ」 ③ → 「モーナリの」 ④ 「ま、いいや、ビーゼ、ゼンカイあたたかいれた!」 ⑤ 「ヤッターチゃんと勉強してヨカルタ。ヒソあめす! ゼンカイヒタ。またあたたてる力! わかりたい。...」 ⑥ → 「国語も数学も全部あたたいた! (あやめ) これで私の勝ち!」 ハイキエ→じいてよがいた=。

「勉強 = ごほうび = 雑誌」というのはちょっと心もとない感じもするが、それでも自分から勉強を始めたのぞみさんはえらいなあと思う。ごほうびが自分の心の中にあればもっとえらい。お母さんもなかなか大変だ。

6/21 和則 そうじ

今日、ひそみに手をつければよいがおからく、よくぐるり、せなかた。まずは、引き出しだら始めた。それを見たらあら、しました。去年のテストが出てきた。思えばテストの点数がよくて見せなかた。

誰でも一度は経験したことがあるはずだ。だから思わず笑ってしまった。悪い点数をとった時って、意外と親の本性が出来るものなんだ。今度悪かた時、試しに見せてみるといい。反応が楽しみだ。(笑)



昨日は日曜日。私は例の通り、クラブの練習試合。疲れ果てて、家についたのが夕方の5時30分頃で、着くと同時に下の2才の娘がだきついてきた。その後、上の5才の娘がこう言った。

「お父さん、なんで今日、早いの?」

「....」

思えば、しばらく一緒に遊んだことがない。ダメ押して下の娘が、「お父さん、なんで今日早いの?」「.....」 きつい父の日でした。(想)

頑物漢

1998年 6月 23日

第18号 発行責任者: 利野

夢を見る動物...それが人間です。

英美の姉です。

私は現中の卒業生で渡辺先生の教え子です。

私は今看護婦になりましたため家を離れて病院で働きながら勉強しています。お母さんにいた時は毎日妹と顔を会わせたりカロリしていました。でも家を離れては姉を初めて見つけた時は、家族と会えないことあります。土曜日家に帰るのを楽しみで毎日頑張ります。いつも私のかわりを樂しみに待ってくれる妹は私についてかわいがりついでです。

私の妹がおねえちゃんと同じ看護婦になりましたと私は言った時、なんでもおねばかりして口ではやつたもののなんが嬉しかったです。学校でも家でもいつも元気一杯というからうさるくらい妹ですけど、これからもよろしくお願ひします。

ひでのおねえちゃんより

頑物漢讀んでいたがっています。

子供達の書いている事に対する先生のアドバイス教えられた事がいいので大変頑張ります。英美は明るい子供ですが未だ子なので大変甘えん坊です。でもよく思いやりがあり丁寧で扱っていても茶ゆんぐなさがひき伝えています。

お母ちゃんが書いた様で私が来ると看護婦になりたいといふ希望を持っています。自分の目標に向って頑張ってほしいと思っています。

私も親として子供の話を聞ける親・子供から信頼される親。子供に対して思いやりを持つ親に努力したいと思っています。一年間よろしく御指導お願い致します。英美の母より

6/9(金)

おせ言合さん先輩

英美

中絶体が終わり、私たちは一年のさうがれ、兄弟のように接してくれた先輩たち。

中絶体の時、山下中と戦って負けてある先輩が泣いていた。私は、何を言ってやつたらいいか分からず、まだ見ていました。学校へ帰ってから、ある先輩が、泣きながら「しまさん。県大会がんばって行け」と「はさん がんばれよ」と言いました。私は「はい」と言つた。私の部は女子が3人でどの位はみな上位上です。3人でも、声を出して友に注意しあい、がんばっています。

今でも、私は先輩は、会うと、「今から音楽?」^④「はい」^⑤「がんばらんね」^⑥「はい」と言う。

もう一人の先輩は、音楽が始まる前に、体育館に来て、「しまさん がんばれよ」と毎日、言つて来ています。ありがとうございます。

私は、音楽の時だけじゃなく、3人の生活でも、おしゃべりになりました。休み時間になら「しまさんー」って来て、おもしろい話をもってきてくれました。ある先輩がり帰る時、「来どしまさんどうゆう関係?」^⑦と言われて「先輩後輩の関係」^⑧でいいましたが、^⑨「え、それだけ」^⑩「兄弟」と言ったすごくうれしがった。本当にいろいろおしゃべりさん先輩。

左は志摩さんのお姉さんとお母さんのもので、右は本人のものです。双方ともノートにびっしりと書いてきました。

妹の夢を家族が支え、励ましている姿、そして親としてこれからどうすべきかその決意が伝わってきて、「ああ、英美はこういう家で育ったんだ」と改めて感じました。

それに英美を支える先輩たちもなかなかいい味を出してる。人間味にあふれている。先生は昔、ある先生から「先輩らしいことをしない人は先輩ではない」と言われた。いい先輩をもって幸せだ。

(7)

頑 紗 漢

1998年 9月 24日

第19号 発行責任者: 前野

スポーツの秋...新人大会真っ盛り!!

9/23(水) 麻美 <ホリミ>

今日は9:00~部活がありました。川原ちゃんに練習がはかどっていたと思ったんだけど、スローイク練習のときに理紗(2C)が、「これいいだーい」と言つてハーレーでできなくなってしまった。セッターがいたくなってしまったので、そしたら平井がセッターをやらされてしまいました。少し前までには、セッターをしたけど、津山中での練習がありをきっかけにセンターにホリミ。シヨン移動重かして、センターのフォーメーションをおぼえています。スローイクもよくなるときにはセッターをやらされたので、しょうがないとは思つたけど、かんかくかうされていって金々いリトスをあけますとかことかとさせんでいた。そして先生には、「悪い場合には麻美がセッターにならがら」と言わされました。たしかに早くリサがなあってハーレーでできるようにしてほしいです。そうすれば平井はセンターハリミになります。

いよいよスポーツの秋。昨日あたりから各部新人大会が始まりました。先週は市内の駅伝大会で女子が準優勝を果しました。2年生が主役の大会です。来年の中総体につながるような戦いぶりに期待しましょう。

私が受け持つソフトボール部も昨日は新人大会でした。一回戦で早々と優勝候補の女川一中と当たり、延長タイブレイクの末、負けてしまいました。それでも階所に素晴らしいプレーが出来たので、何とか粘ることができました。来年に向けて再スタートです。

9/23

俊介の母

うちの犬が死にそうです

12年と2ヶ月のしづくらしてきました

年だからこれからこのことできないことです

でもかないで。今日は調子が悪い。今日は二日をよく食べた。そんな毎日です。

話はわかりますがうちには1月31日に生まれたしゅんの妹がいます。なんかはなした。ハイハイした歯がはえた。スクスク成長しています。

生まれてた命と消えゆく命。今微妙な年ごろ。しゅんはこの2つのことをどのようにかんじているのかことはでは伝えきれないものを自分なりにかんじて心の栄養として成長してほしいです。

うまく書きあらわせないけれどそんな思いで日々子供たちを見まわっております。

今後ともよろしくお願ひします。

8ヶ月だと、ハイハイからつたえ歩きにうつる頃でしょうか。
「はえは立て立て歩めの親心」よくわかるなあ、その気持ち。
それとは対照的な犬の命。12年と2ヶ月と言えば「ほぼ」俊介くんが生まれた頃から食つてたんですね。寿命と言えばそれまでですが、やはり一抹の淋しさがありますね。ただ天寿をまとうしたのであれば、お祝いをしてあげないといけませんね。

多感なこの時期、俊介くんにとては辛いかもしれません
か。勉強のいたと恩で見届けてほしいものです。



我が家の中の息子ももうすぐ2ヶ月になります。食欲旺盛で体重も倍増。ちょっと太目は親父似か? 先日は珍しく私がお風呂に入れてたら、急に大人しくなって気持ちよさそうにしていました。ところが実はあれの前兆だったんですね。私の体もあれにまみれてしましました。(中)

頑 烈 漢

1998年 10月 2日 第20号 発行責任者: 制野

課題山積 ... 秋の夜は眠れない...

9/24(木) 「新人戦」にむけて

力不足

私達ハ"レーベル"は、26日には「新人戦」があります。ハ"レーベル"は16人で、4人エコーディーを入れると3人ユニホームをきれません。今はAチームといふはやくいえは"スタジオの人達"です。私は分けられるの、すなはて"Aの人たちコートに入つてヒリカれるとちとの人達、ましにいなしくなりおつけてしまします。みんなもヒラヒラしてるのかは知りませんが"私はそれで"も技術面でも差がついてしまうと鬼になります。ア"も私はそれによまけず自分で"まよふことは自分で"やりで"まなり所は知。ア"もハ"ましきでモリ"ナカ"りカ"りカ"ん"は"りたいで"す。

中学生らしさ、かなさんらしさがよく出でる日記だ。同じチームメイトでありますから「A」だの「B」だのと区別されるの嫌だ"というの、中学生として人間としてもっともな感覚だ。たとえ技術的な差はあるにせよ、分けられるのは嫌なものだ。そう思うかなさんの感覚は全く正しい。

「下手な人」だ、て練習すれば"上手くなるはず"。人より時間がかかるかもしれないけど、いずれは上手くなるはずだ"。だからそういう人にも時間と場所を与えて、みんなが上手くなるのがクラブだ。条件が制約されれば"それだけチャンスは減る。上手い人と下手な人の差がますます広くなる。もしかすると気持ちが歪んでしまうかもしれない。そうならないようにクラブを運営してほしいし、中学生なら十分考えられるはずだ"。

9/28

歌

谷川正智

今日から歌の練習がはじまた。まだみんな、ふざけながらやっていた。ぼくは、自由曲のばんこうをやります。キーボードだとひきにくいで、男の方がまだ音といがけていないのでドンパリります。

9/29

朝練

谷川

朝練だ、45分ニ3度校についたけど男子は少いか、なかた。うちだんだんあつまって練習がはじまた。男子だけで練習をするのは、なかなかのものですが、キーボード、三太の声がきこえない。三太は1人ではしまって、角子はニ部にわかれますが、バスガード(三太側)につられてしまう。三太は声が大きすぎる、それに、けんうちやんと音が合っていない、もう練習する時間がないので、はやくおぼえよう。

9/30

ちゃんこやれよ

谷川正智

今日の三浦は、おこっている。なぜなら、三浦はがんばっているのに、みんなが声を出さないし、いつもしゃべっていたが、三浦はおこなうううた、ていた。でも、帰りになると、みんなが"出でいて、三浦もとばして、いた。うまく、たとえうが、男子のニ部にわかれらる所がは、きりしない、自由曲は、うたいにいくし、まずかい。制野先生は、手拍子でごまかす、と言っていたが、むりだろ。ぱんそらがない所もあるので、ちょっとねえま、でかはこれから考えましょう。

今思えば結構難しい曲だなあ。手拍子が入って、アカペラが入って、最後は四部合唱だもんな。それでも何とかしないと…。

三浦くんは大きい声で元気よく歌てる。だから、みんなよりも目立ってしまう。でも、これは三浦くんが大きいただけではない。岡りが"トさいのだ。今日の発表会の時、それがよくわかった。

残り2日。やることはたくさんあるけど、最後まであきらめないことだ。大介、や正智くんの努力に報いるように男女とも力をふりしごてほしい。

(追)

頬 梅 漢

1998年 10月 7日

第21号 発行責任者: 刈野

合唱コンクール

2の1. めでたく金賞...の前に...

昨日の合唱コンクールで我が2の1は見事なハーモニーで金賞に輝きました。それまでの歌声がウソのような素晴らしい合唱でした。

この日の朝まで2の1の歌はピンチでした。とにかく合わない。音もズレる。声量もない。金賞には遠く及ばない...そんな歌声だった。

10/16(火) 担当 早瀬 哲也

午後より
題「金賞を取ったこと」

今日の朝にみんなで練習していったときに

先生にやめなさいといわれたとき、さすがに金賞だと
 いわれたときでも腹が立って罰を受ける気力ではなくかったのとかも女真か
 気持ちだったけれど先生の言っていることは正しいと判ったから何も言え
 なかったの。先生がいたかったときは千葉が練習するよ
 カセットを用意したときまたがんばれると黙ったのなのにはまたそれを先生が
 朝の会をした方がいいと言つたからあーあと黙ったのもその儀に
 合川の音を聞いたりまた氣の持ち方を教わったのも色々すこしはうづ
 くも黙ったのみんな同じく黙ったと黙りますの本番は一生懸命
 やりましたQでモトカリ上手だったあとが言おうもえへ?って寝ていた
 カルで?どうも石母田先生が金賞1組といわれたとまづモードにな
 とう気持ちでたのんがの気持ちが1つになってからいっぱいたり
 マジかう結果を出せたり黙りますの大人にからがりはかいがコ味ねえな
 い気持ちを実感できましたので本当に良かった。

それに何と言ても正智くんがいなかたのが、クラスにとっては大ヒンチだった。暗雲が漂っていた。落ち込んだ中での練習はまさしく“暗黒の火曜日”だった。そんな時はいくらやってもうまくいかないもので、昨日の朝などはまさに泥沼。やればやるほど深みにはまる。そんな状態で当日を迎えてしまった。

しかし、そこから雰囲気は急転直下した。沈んだ気持ちに再び火がついた。それはみんなで正智くんの気持ちを考えるとこうから始また。

“夏休み中から伴奏の練習に取り組んだ正智くんのためにも、最高の歌をプレゼントしよう。悲しみの真、只中にいる正智くんを元気にしよう。”そんな気持ちが合わさせてあの歌声になれたのだ。同じように苦労した正規くんや英美さんのためにも、2の1はひとつにならなければならなかたのだ。その結果が金賞だった。

2の1はどちらかと言えば控え目で素直な人が多い。でも本気にすれば何でもできる。実際、その通りだった。やればできる。昨日の一発逆転は本当に見事だった。自信をもって何にでもチャレンジしてほしい。
これからも



最近、世の中が何か変だ。保険をかけて人を殺そうとしたり、返さなければならないお金を強口まかすお役人さんがいたり、銀行が勝手に作った借金を国民の税金で補うとしていたり…。どこかが狂っている。

先日、ある生徒指導の会議に出席した時、こんな発言をした先生がいた。

「中学生の凶悪な事件が多くなたのは、大人の凶悪な事件が多くなったからだ。大人の方こそ、何とかしなければならない。」
 その人は「だから少年法を改正しても、と重い罰を与えないわけならない。」と言いました。この意見には賛成しかねるが前半部分については「そうだな。」と想う。

変な事件が次から次に起る世界にいるとちょっと変なことでも変だと思わなくなる。このことの方がも、と怖い。

水は低い方へ流れるのが世の常。いつの世に生まれても正しいものは正しい。悪いものは悪いと言える強い心をもらいたいものだ。
(独)

頗妙漢

1998年 10月 8日

第22号 発行責任者: 刑野

合唱コンクールと道徳で考えたこと。

10/8(火) 合唱コンクールで… 担当・繪理

今日の朝、合唱の練習をした。声が小さく、男女バラバラで、先生にも「金賞はけ、かなりとおい」といわれていました。でも、本番では、今までの練習の時とは違ひ、2年1組の姿がありました。今までの中でも最高の合唱だったと思います。先生にいわれた、たった一言で、銅賞という壁を破り、クラス全員が一つになって、金賞という大きな目標を達成することができました。自分でも、金賞といわれた時は信じられませんでしたが、クラス全員が一つになって団結したということが、金賞への道へと導いたのかもしれません…。

昨日、休んだ繪理さんでしたが、こんな日記を書いてきました。先生の一言って何だったんだろう? 大したことばはないんだけど、それに答えた2のはやはり打てば響くクラスなのだ。

それに9月28日から始めた朝練の中でしゃかりと力をつけたのだ。眠い眼をこすりながらやった練習の成果だったのだ。遅刻者はいても脱落者はいなかった。声の出る人は声の出ない人の分まで歌い、音のとれる人は音のとれない人をカバーしながら歌った。女子は男子の迫力ある歌声にひかれ、男子は女子のきれいな声にひかれながら歌った。互いに響かせ合った結果があの歌声だったのでしょうか。

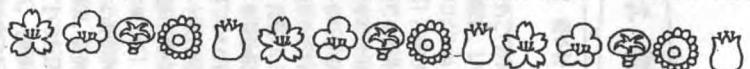
10/9 水 「道徳の時間にしたこと」

5時間に、2-1では、「身の回りで起きたちょっと変なこと」を発表したりした。そしたら「3月は変なことか?」できて樂しかった。「まさかコロナ人いるはずが、いんじゅう思いうふうなこともあった。私は、黄色のはたがよくなると自動がはねはいきのシールがよくなる、なんて、気にした」とか「よいのに、やっほり中には見ている人がいるんだ?」とかと思つた。これは、やわらかさをさかしてみると、きりかわいいと思つた。

昨日、道徳の時間、「身の周りで起きたちょっと変なこと」について、話しました。「変なことを変だと思わない怖さ」については前号でも述べた通りです。2の1のみんなの書いたものを読みながら、「ふむ、ふむその通りだ」と思うものや「ゲ、そんなことがあったのか」とびっくりさせられるものまで本当にいろいろなのがあります。

その中でも「(交通安全用の)黄色い旗はなぜなくなるのか?」や「自動販売機のシールはなぜなくなるのか?」「テニスボールがなくなるのはなぜなんだろう?」というものがあり、普段何気なく目にしているながら、気づかないものがたくさんありました。何か変だと気づいていてもそれを口に出してじっくり考えるということはありません。探せば「探すほどきりがないからみんなが自然にそれを訴えることも、あえて追求することもしなくなったのだ」と思います。これが実は怖いことなのです。“赤信号みんなで渡れば怖くない”“無理が通れば道理ひっこむ”で、理にかなわない行為でも慣れや馴れ合いでどうにでもなってしまう。

だから人間は時々、ふと我にかえって後悔の念にさいなまれる(べきなのだ)。“同じ穴の貉(むじな)”となって悪い深みにどんどんはまらないように、人間は時々悩み、考えるべきなのだ。これは大人にも言えることだ。



昼夜の寒暖の差が大きいためか、風邪ひきが多くなっていました。昨日はいろんな理由で8人もいなかた2の1でした。季節の変わり目は要注意。夜は1枚多く着てもいいかもしれません。既にひいてる人はお大事に。

(母)

頑 強 漢

1998年 10月 16日

第23号 発行責任者: 棚野

中間考査の話、翔浦祭の話

みんな
けっこう
がんばってます。

10/12(月)

自分から進んでてきた 雁野祐輔

僕はいつも親に「勉強じろ!」と言われないと勉強をしませんでしたが今日は、自分から進んで勉強できました。なんか、親に「やれ!」と言われてやるのと、自分から進んでやるのとでは、せんせんちがうことか分かりました。テストまで今日をませてあと3日、がんばっていい点をとりたいと思います。

今日は珍しく「勉強」について考えよう。

以前、同じようなことをスズケ(鈴木裕輔くん)も書いてた(17号 6/2付)。中学生というのはいつ自覚あるのかよくわからない動物だ。何が生きかけて突然良くなったり、急に悪い方に自覚めたりする。思ふように育ってくれないと嘆く親や教師も尻自に、ある時は小生意気に、またある時は妙に素直になたりする。感情が上下左右に搖れ動くのが特徴かもしれない。

さて、では「勉強」はどうか? 勉強とは他から強いられる(強制される)という意味があるから、先生はあえて「学習」と呼ぶことにしたい。これは「学ぶ」あるいは「習う」ということ自体に「自から進んで」とか「他から強制されず」という意味が含まれているということだ。他から強いられることが勉強、自分から進んで行動すること=学習なのだ。

そういう真の意味で「学習に取り組んでい」生徒は一体何人いるんだろう。自分が自分の意志で自分をコントロールしながら学んでいよ人はこのクラスいや学校にどれくらいいるんだろか。中間テストを前に少と疑に向くと思う。

10/14 <中間テスト>

今日は中間テストだ。朝6時半に3起きで理科の原子の種類だけ勉強した。昨日も理科だけやってほかの教科はほとんど勉強しなかった。だから今日の期末は理科にかけていた。4教科はせんせんたれなかったけど理科だけは全部書いた。でも4教科かたれただからかぶらん点数はわざいたろう。もっと勉強してればよかった。

正規

「一点突破」作戦だ。先生もよくやった。1つ1つ自信をつけることが大切。今までになかった変化を感じることが大事なんじゃないかな。反省も大事だけど、「これだけはがんばれる」教科を見つけることも大切だ。

10/15 たりこ

今日から翔浦祭の練習がほんかくてきにはじまる。ほくはたっこで去年をやっていたからたいいじょうぶたうと思っていた。練習が始まる前に棚野先生に「今年のたっこは、ふしぎんだ」と言われた。ほくはその意味がせんせんわからなかつた。練習が始まってほくはおせんとした。去年どちらかうつすありながら、かくど35°くらいいにたもれてたたくと言われた。「なににへりと思った。今日からはじきました。正規

今年の太鼓は去年とひと味違う。形も違うし、中味も違う。その太鼓の背景にあるものも違う。考え方も違う。聞いてる人にはそこも感じとてもらいたい。ただ音だけ聞いてりゃいいんじゃないくて、皆が何を考えながらたたいてるのか、そこをわかってもらいたい。

さて、中間考査の結果からひとつ言。大リーグの野茂がアメリカの野球に持して1番びっくりしたこととして選手一人ひとりのトレーニングに向かう姿勢をあげていました。"大リーグ"の選手はゲームの後もよく練習する。その日の反省を活かして…。日本の選手は夜中まで酒飲んで、次の日を迎える人が多い。(但)

頤 紗 漢

1998年 10月 17日

第24号 発行責任者：削野

大学入学資格検定試験に 最高齢で合格

将来のために学ぶこと

10/16付 朝日朝刊より



6年前に妻を亡くし、一人暮らし。「勉強は頭の体操です」。83歳。

出所 朝日新聞1998年10月16日朝刊

“こんな人もいるんだなあ”と思ったのが左の記事。“えらいなあ”と思う。と、同時に“待てよ？”と思った。

83才と言えば、もう孫の子がいてもおかしくない高齢だ。普通なら、退職後はのんびりと自分の趣味にでも取り組んで、日がなぎたりと生活するものだ。将来のために何かをしようとしているように見えない。このおじいさんは新島さんは一体何のために大検(※)を受け、またこれから大学を受けようとしているのか?

本人に聞かないと何とも言えないが、先生は“学ぶために”学んでいるんだと思う。自分が知らないものの中から自分が知りたいと思うことを選んで学ぶこと自体に価値を見い出しているのだと思う。そこには“将来の生活のため”とか“何かに役立たせるため”とか、まして“老化防止のため”などという消極的な理由があるのではないはず。未知のものを知りたい、分かりたいという純粋な思いだけが、斎島さんを動かしているように見える。

金にも物にも不自由しない今の若い人たちを 新島さんは どんなふうに
見ているのだろう。一度、聞いてみたい。※大学入学資格検定試験のこと

貞吉昌年正月廿五日

今日の3校時目、上級学校（主に高校）訪問の学年合同学年活があつた。これから というか 高校を選択するための 1 つの取り組みだが、ここで「勘違いしてほしくないのは、高校に行くために学ぶ、学んでいるのではないということだ。間違っても 高校入学を ゴール（目標）にしてほしくない。ゴールはもっと先にある。そこを「勘違いすると 中学校生活の学習は 悪苦しくなる。

高校の中途退学者は宮城県だけでも2000人を超えており、その1番の理由は「不本意入学」だ。本人の意志を無視した不本意な入学が多くなっているのだ。それと「学習意欲が湧かない」というものもある。本人の意志が無視されれば「やる気を失くすのも当然」なのだ。宮城県の中退率は全国でもベスト3に入るほどの高率なのだ。

全部が「そうだ」とは言えないが、本人の意志が十分に反映されにくい入試システムと進路指導があるのだと想う。でなければ「中退者がこんなに多くなるはずがない」。これは先生方にも（もちろん自分も含めて）反省すべきことがあるということだ。

君たちが今、本当に学びたがっているのか。先生はそれが知りたい。そして、それに応えたいと思っている。

(三)

頑 強 漢

1998年 10月 23日

第25号

発行責任者: 刈野

「みんなにつたえたいごと」

10/19

「みんなにつたえたいごと」

志摩 英美

知っている人が“多い”と思うが、このあいだ、さわだの交通事故で、うちのすんこchanがケガをした。その日は、ちょうど、次の日たが“か”来見予レクリエーションで、買い出しにいくじゅんびをして、友だちからのTELをまっていた。その時、リリリリリン×2となつた。和が「はいもしもし。アーティカラ、ハーディ」のおんchanしけしけた。そしたら、しけしけに「ひでみchan 知りないの」とつづきされ、「なにがおつたつけおじいさんけがして、今日の夕方手術すんだ？」ってりかわ、びっくりしました。TELを切った後、私はパパ配のきもちで「いはいでなければ」が“だ”。おしゃが様にせんこうあげておがみ、ガみ様にもおがみだ。今までもてやさしくしてやつてわはばつてこうかいした。今のすんこは、元気がいい。みんなにつたえたいごとは、お年よりを大々的にしてほしいです。私は前まですんこに「へもつきつづりかわで自分でやってごい」と“ざつ”てりつてました。

でも、今では、「すんこ たいじょううか」「すんこ、かんぱれ」と声をかけてあげています。年になるとケガをするのがわざりません。みなさんやさしくしてあげましょ。

(おしまい)

事故でケガをしたのは先生も知っていました。その後の様子も気になっていました。関係者には心からお悔みとお見舞を申し上げます。

さて、今度のことでの英美さんもいろいろなことを考えさせられたと思います。

考えているうちに“皆に伝えなければ…”という思いにかられ、左のような日記になったのです。涙を流しながらお釈迦様や神様に拝んだこと、今までもっと優しくしておけばよかったですと後悔したこと、それを皆に伝えなければと思ったこと…英美さんの心だけには止めておくことのできない何かを感じ取ったのでしょうか。

英美さんは自分の心に書いたことを皆に訴えたかったのです。だから、説得力があるのです。人から言われて気づいたのではなく、自分の実体験から気づいたこと、感じたことをあふれるような文章にしてくれたのです。

先生は勧ますことしかできませんが、皆はできるだけ心の支えになってほしい。苦しい時ほど一緒にいてほしいものだ。それができるのが学級なのです。



「あすなろ」で目覚めた 真美

ほくは、12(水)に「あすなろ」という
3年前の学級通信をみせられました。
いじめという題名だった。

内空は1人にいじめられた2人かい、
1人を殺したという話しだった

ほくは、この話を家にかえってきてから
もう1度目をとおした。

いじめられたから、殺すことはないと思つた、

いやなら友達に相なんとかしたほうか
もう少し楽しくすごせたのではなかかと思つた

先生はこれを読んでちょっと感激した。
真美くんが家でもう一度目を通したところで感激した。

学級通信というのは意外とあっさりと捨てられてしまうものです。

だから武田くんの
ように、ファミコンや
TVだけじゃなく、

学級通信を見たというだけで先生はすごく感激した。

さて、「いじめ」については学級でももっと深く考えてみたい。深く考えることとは、ダサイわけでもないし、かっこわるいことでもない。「いじめ」を考えることとは、友だちのことや学校のこと、社会のこと、教育のことを考えることだ。そして一番大切なことは自分のことを考えることだ。

(担)

頑妙漢

1998年10月26日

第26号 発行責任者: 刈野

人の良さは人の数だけあるんだよ。

10/16.

・何を書こうとも考へながら、子育ての一冊を
ほぼ一冊読み破ってしまった。
お父さんお母さん方の日記もさる事ながら先生の
一人一人への返事がとても熱心なものなの
を感じています。

また我が家でも祐輔も連れればほがら反抗期なるをさしか
見えぬくしてまた今日比類、母子ゲンも度々ありますか?
今日は息子の自慢話を一つ、元は祖父母を含めて5人家族で、
祐輔は生まれて町からおじいちゃんおばあちゃんが、三つの村おむすびの
生活です。私がいつか二つともお年よりにやさしい子供に育ててほしいと
指物を持てあげた見知らぬおばあちゃんへ。おれの電話を
切った)。最近は、道案内をしてから家に帰。石垣なぜか自転車の
後に1000円札がはさまれ、いつも外にも色々とありますか? 教える
べき親の私が、やらうとして出来ないところをあれり実行する。息子に教わるや
うな行為が反抗期を察してゐると思いまく、この人を思ひながら気持ちは必ず持
つていいほし」と思ひます。

こんなに素晴らしいことがあったとは知りませんでした。やっぱり子供のことを
一番知っているのはお母さんやお父さんなんですね。

10/20

直人の母

二度目の子育ての一冊、やはりトキドキ。

今日、息子は床屋に行くつもりで早く帰って来たらしく、
予約して行ったはずが、先に席が入ったと言つてことわられ
帰ってきて頭に来ていた様です。せっかく時間をつくづ
けたのに、やめてくれてもいいのに……。

その分、今夜は夕食を早く、時間もありヒーリングに買物
行く事になりました。自分のほしい物を見て、買物をさせま

今日は、直人のお母さん、誕生日なので、みらいさんと

フルセグにて花を買う事に。小川の頃から、それが仕事で
いたいが為に、病院へ行く時など、いつもお母さんは連れて行か
もらう方が多く、「育ての母」の様な人です。(お父さんの妹)
花が好きなので、花束を購りました。男の子のやり口は、どうか
嬉しいのが出来る子供です。

私の父が今年3月に他界しました。父の父にも、線香をあげ
に、よく行なれます。今日はお母さんも、采木はいと思つて、
家族6人分、6束線香を五つて持てて来る息子です。

中学生の子供にとっては何か出来た事かと思つたが、
このまま、いつまでも素直で、優しい人に育てほしいと思ひます。

雁部くんも直人くんも素晴らしい子たちだ。真、すぐに育てることがよく
わかるし、こういう子供たちがこれから日本を背負ってほしいなとつくづ
く思う。

人の心のわかる子、人の辛さや悲しさ、喜びを自分のことのように感じられる子、そんな子がどんどん育てほしい。先生もそういう子供たちをたくさん育てたいと思っている。でもやはり大切なのはその子自身が自分をきちんと見つめて何をすべきかを深く考えることだ。自分のことや他人のこと、真剣に考えること、そして進む道を見つけることだ。

先生は決して雁部くんや直人くんを見習ってほしいと思つてゐるわけではない。人の良さというのは人の数だけあるものだ。そこに気づいて伸びていってほしい。もっと自信をもつて自分の良さを語つてほしいし、伸ばしてほしい。(担任)

頓 刃 漢

1998年 10月 28日

第27号 発行責任者：制野

「いじめ」と「猫」と「オセロ」の話

10月27日 大おうび 担当→宇都宮エリカ

是員 ひいん ひじめにまつひーの者え

この前の掌話のときから考えていいことを
書きます。私は新潟間にのっていった言葉事
のよくな系統のいじわほ身近で起きたことは
ないと思ふ。男子はすぐ、ケンカだらし、女子もそれなりに
いじめもある(や兼かくばけいもあせりある)
でも何でっておだやかだと思ふ。少なくとも自殺とかを
考えている人はないと思ふ。書き事のことについては
私は薄沢君はかなりそうだったか"弱い"のほどちりかと
いうと薄沢君と思ふ。A,B君はいいの弱い人だったと思ふ。
そんな2人をここまで追いかけてるのは薄沢君本人だかりアリす
たる人。私はやめたりVの強い人になりたいアリす
力が強くても気が強くて止めアリす。Vが引寄せなければ
と鬼いふかげり書き方に。((ちかがまとまりす))

お互いに対等な立場で話ができない、そんな状態の時によく“いじめ”が起こる。お互いの主義・主張を十分に表現できる人間関係とか、学級とかができるといれば、そういう心配もなくなる。一人の大ボスがいて、周囲が思うようなことが言えないようでは大変だ。エリカさんの言うように強い心がみんなにはあるだろか？

10/26 うちの猫

うちには猫が3匹いる。前は5匹だったんだけれど、
1匹は外で死んでしまった。そこが原因で、もう1匹は事故で
死んだ。ニニゲの前をどうかいいしよら。なぜかうちの猫は
自然にともなって3匹。陸、山、海、3つある。この3匹はす
て猫である。少々ニニ3は仲もよく走りまわってたりけど、
今では、よくけんかをし、なればかりもつくつたり。
あさぶとニニ3もちがつたり。ふくらの猫は、にわや、山のほう
であさぶとか、ニの猫ビモは、根であさぶ。なんとかして
あそんだことは一度もない。
ニンヒーからはずれておそんでさらうしたり。 正規

鬼わす”笑ってしまった。外で遊んだ(?)ことのない猫というのはたぶん相当、珍しいんじゃないの？ しかも“縄張り”をつくられた日にゃ、食い主もたまたまんじかない。パート2に期待しよう。

10/27(火) 風休み 三浦大介
今日朝野先生がオヤロをもってきた。それで風休みに先生と勝負をした。この勝負ははじめの方は僕が有利だったけれど後の方になってくると先生に捕まられてきて接戦になっていた。
そして勝負が終えて結果は僅か月勝った。
先生はまわりのやつからさいがりたゞくやしそうにしていた。それはやはり帰りの会の時にもいわれて先生はとてもくやしそうにしていた。僕は勝ったのですぐうれしかった。

ハッハッハッハッハッハッハッ (余裕の笑い)。三浦くんは、まだまだ甘い。先生はエサをまいたのだ。いまなり大差で勝ちましたら、三浦くんもやる気を失くすだろ。だから先生としては最初にわざと負けて、自信をつけさせてやったのだ。ハッハッハッハッハッハッ... (余裕、余裕)。あれが先生の実力だと恩たら テッテッテッ (囁) 甘いな。先生のエサまき作戦にの、た周りの諸君、先生は逃げも隠れもしない。いつでも来なさい。いつでも受け立とう。 (想)

頬 悅 漢

1998年 11月 10日

第28号 発行責任者: 利野

『心の強い人とは?』 ~エリカさんの日記に 対して~

郁恵さんの日記です。みんなはどう思いますか?

11/4 (水) ♣ 担当 IKUE

♣ ♣ [ハ]の強い人とは?】

前の時間に、「ハ」の強い人とはどういう人が「EVE」と
書かれたけれど。私はえつがの日記を家に
帰つてから読みました。私は「うしても「ハ」の強い人
とはどういう人が分りませんで」でした。分りない、また「と
いかない」ところで、お母さんに聞いてみることにしました。
そしてお母さんは「まわりの人の言葉や行動にさやう
されず」に、善悪の判断ができる、自分自信、しつかり
とし+ハ"さ"しをもつハ」と言つていました。

このことで「当たりはずれあるとはがきりませんが」。
私は、このことを聞いて、あ! そうなのかな?
自分は「うがな」とが考えられようになつてしまつた。
今まで「ついいうがす」と「ハ」の強い人は「と聞かれ
た。日本は、まよつてしまつたが。これがうは、ちやんと
自分もハの強い人になり、回りの人にはやうされない
で「自分の声」見ははつきり言える人間になりました。

End

先生も難しい質問をしたもんだなあ。生徒だけでなく親まで悩ませ
しまった。正解なんてないんだけどみんなで、そして親とも一緒に考える
ことが大切なんだ。

その点、郁恵さんはものすごく柔軟で素直な心の持ち主なんだと思う。
わからないことは自分で考え、それでもわかんない時は人に聞く。それでもわ
かんない時は本を読むなり辞書をひくなりすればいい。郁恵さんのえら
い所は「分からなままだといや」と言っている所だ。自分で納得した
いのだ。この点がうんとえらいと思う。みんなはどう思う?



11/6 (金) 広輝の母です

いつもお世話になります。

最近の広輝はとても生意気になりました。

小雨の降る朝、学校へ行く広輝を玄関まで見送った時

「カサ、持つて行ったら」と言えば「いらぬい」。

外出する時、「東へ西へ」と言つて行つたら、と言えば「大丈夫

先月の自由参観日の一日、仕事前に5分ごもと思つたら

「来なくていいから、なしてつめない、言葉

毎日、毎日、急強もしくはギターバリ弾く

試験の前に遊び集めて机には向うけめど、勉強10分、休憩30分

何が欲しい物がある時だけ、買ふ物につづくよ。

うまいしたが、まずいんだか、感謝の気持ちもなく

当たり前のように食事をして、そして僕をうに返つくる言葉

「自分で生まれて来た顔をして

誰のおかげで大きくなったと思つてました

「いいかけんにしちゃ」と母は怒ります。

広輝がまだ小さかった頃は、早く大きくならなく、と思つましたが

今とすれば、お母さん、お母さん」と言つて

いつも私のそばから離さなかったあの頃が一番良かたと思つます。

先日、家族で食事に出掛けた帰り道

一人でサッサと歩きながらでも、何度も後ろを振り返り

少し酔つた私に無理想ながらでも、手をかけてくれました。

その手は主人よりも大きくなつてました。

広輝くんはまだ小さな窓から空を見ているのでしょうか。思春期の真只中で今は自分探しの最中です。小さな窓が自分の世界になります。(母)

頃抄漢

1998年 11月 12日

第29号 発行責任者: 刈野

(前号のつづき)

昔、松山千春が“小さな窓から見えるこの世界がぼくのすべて空の青さはわかるけど空の広さはわからない”という歌詞の歌を唄っていました。思春期を的確に表現しています。小さい窓だけに雲の流れも鳥のはばたきも一瞬の出来事のように過ぎ去っていきます。だからこそ君たちはそのひとコマひとコマを脳裏に焼きつけて、これからのおエネルギーにすべきです。お母さんやお父さんの言葉もそのエネルギーの源なんですよ。

すず"スケ特集

～すず"スケはボーッとしてるか。
それともしっかり者か？～

11/10 担当 すず"スケ

< 月末に向けて ... >

「言ふことは聞かないで」<ヤル。

それよりもモーレツに今“きぼう”

をオレはもっていろ。おせかって？

計画を立てたのさ。月末へ向けての！

オレの1日の最高でできる勉強量

時間は30分。それ以上すると

豆原がいたれてしまう。だから計画を立てた。テスト3週間前から

1日15分で一とつの勉強をするのだ

おかげでテリモつもれば“山とある”

单元も“”。“一だ？ そこ”いた“3,0

11/11(木) 鈴木 裕輔の母です。

いつもお世話をありがとうございます。

前回の「子育てノート」の時のように「変わることを書くな」と言われながら監視されながら書けます。「オラの事は書くな」と言つります。ママももちろん、「オラ」の事を書きます。先生も、1年生の時から裕輔君の担任をしていていたのですが、ご存じだと思いますが、うちの息子は「ボー」として性格で、ティーアイルの上を片付けろと言えば、その日の日付けの新聞をテーブルから、ゴミ箱へ...。くつに穴があいたFは捨てますが、片方の穴があいたFはくつ下は、洗たく機へ...。何を考えているのか何を考えて“はいのア”、その性格のせいなのか、運にも見放されていました。ところが今、そうですね、この「子育てノート」と私が書くところ、最後に、はまゆこ初めて大判をしてしまいました。今近所に、ほジユースを、裕輔君が買ひに行きました。50円玉を持て、帰ってきた裕輔君の手には、コーラが1本と、6.30円のお金、100円玉が1枚、50円玉、1枚10円玉、8枚裕輔君は、おお高ひです。でも、ここで“話は終らぬのです、”も1回、買つたらゼットお金が足るがも」と200円持つてまたジユースを買つに行つたのです。私は“いいや”と思つながら待つていると、コーラ1本と、10円玉、8枚を持て、息子は帰つて来ました。“あ～あ、10円玉、が“16枚になつてしまつた”と、がっかりしていまあやつぱり運はねいかです。

私の好きな三上満さんという人は「子どもは白黒まだらだ」とよく言っています。いい所もあれば悪い所もある。また、白だと思っていたものでも光の当たる方(見方のこと)によつては黒い部分も見えてくることがある。裕輔くんもよく言えば“素直、悪く言えば”単純となるのでしょうか。

人間みんな完全じゃないから、子どもに限らず“大人も白黒まだら”ということになるのでしょうか。ただ大人と子どもの違いは子どもはぐるぐるどうせん階段のようにゆっくりと確実に成長しますが、大人はなかなかそういうことがないということです。子どものような柔軟な発想が大人にはないからです。

三上さんの名言をもう一つ。「教育とは愛のボディブローを打ち続けることである。」

頗妙漢

1998年 12月 17日

第30号 発行責任者: 前野

笑顔でた心は美しい笑顔から…

12/9(木)

笑心美笑

笑顔でた心は、美しい笑顔から生れる。

人間には育ててほしいと願う「笑美」と命名したのがこれがこれ! 13年荆 3,900g。今、体重計に乗っても数字は手で覆つておさえられない、多分1回停位かな? 1回停の愛情が心と体につまっている。だから重いんだ……。

先日、童話作家の山崎洋子さんからこんな事を言っていた。人とお会いした人の良い所を見だし自分が感動する、それによって心が豊かに成り、昨日より成長した気持ちになる。それが樂みで人と一人でも多くの人とお話を今が幸いだ。――

人は人によって生きられ、生きているといわれ

ますが、笑美には、これからも、素直で聰明で心を忘れず歩んで行ってほしいと思はず。

カントの父

人の名前は必ず由来があるし、1つ1つの字にも意味がある。お父さんやお母さんが“どんな思いで”みんなの名前をつけたか知っていますか?今まで知らなかた事実があるかもしれません。

12/14

伝光輝 視線

俺の部屋は右に向ても左に向てもポスターだらけ。(GRAYとSPEED)のポスターが、どの角度から見てもみんな俺を見ている。えー。いやえー。どーしょー。みんな見てるよー、と、言ながらも、見られると、見たくなきの俺の戸所。だから、す、と、目をあわせたり。でも、こちがはずくな、くる。はずさぎてくる。みんなもやつれよー。

12/15

カレンダー

俊介

今カレンダーを見ている。

そして、1年ってあ、というまだなあって思った。1年前のことがついこの前のことのように思えてくる。1日(24時間)が365回これを計算すると8760時間。とても長いような気がするが、短い。この時間の中には楽しいことや悲しいことなどたくさん思い出がつまっている。短いけど大切な時間なのはなあって思った。

98年も残すところ2週間あまり。“ああ、また年を取る…”なんて淋しいことは考えず、日々充実した生活を送りたいものだ。今が充実している人はきっといい98年だったのでしょうか。先生は? もう3人充実していましたよ。(想)

頑珍漢

1999年 1月 18日

第31号

発行責任者: 制野

正規くんちの「山」に突然異変が...

1/13(水) 家の描

今日家の描の山が入院した。えれら家でケロをしたり、様子がおかしかったから今日動物病院に行ったら、(1)臓のうち、われくしてて、急に入院されることになった。病院の先生は2月3月で退院できることとされた。早くおはしゃりと思う。

正規

以前、「頑珍漢」で正規くんの家の「陸」「山」「海」という猫のことを紹介したのを覚えてますか？ そのうちの「山」に突然、不幸が…。

1/14(木) 家の描

今夜の9時をまたところがかる。それはつい動物病院にいく。今日5時半ころ新聞配達からがえってきて、こはんを食ひようとしたう一本の電話が入って、僕が出たら、動物病院の先生で、おおうやうがい急にわるくなつたのをちゆきてくださいといわれた。すく家の人へ言つて動物病院に行つたが、ほんのすこしあがめられない、山がいた。山で死んでおかしくないと先生にいられた。(2)まじかよへ心が中でそう思った。もとやさしくれとげはよかれた。と思いつかれてからになつた。

正規

正規くんが「山」が好きなんだなあ。最後の言葉、よくわかる。その時にまらないとまらない気持ちなんだよなあ。

1/15 家の描

昨日書いたが家の山がおぼい。昨日先生が死んだら夜中には電話やんない? 朝やりますからとされれた。だから今日はちよとしかねむれなかつた。朝に電話がいなかつたんでは? とした。お昼に病院に行つたら、昨日よりはよくなつたとされれた。ほんとだつた。昨日は、ちょっとひが目がついていたのに、今日はちゃんと目がついていたし、昨日はしゃべんなかったのに、今日は、ちよかじてけんか声がでていた。なつたのがほとでした。でも、先生は、いつまたわざくなるかわからぬとされれた。1週間は入院はすると言された。早くよくなつてほしい。

"ほんちんかん、にのせひがくたつ" 正規

先生は正規くんに「この日記はぜひ載せたい」と言いました。その理由は次のようなものだった。

- ① 動物鬼いの優しい気持ちがよくわかるから。
 - ② 本音がよく出ていて、「正規」という人間を理解するのにいいから。
 - ③ 自分をきちんと見つめていて、正規くんの成長がよく分かるから。
- そして、快く了承してくれたので、今日、紹介しました。

先生は、何だか、みんなが正規くんを学級委員に選んだ理由が分かつた。誰に対しても優しいから、みんなに好かれなんだね。この日記を読んでよくわかった気がする。



いつもながら子どもの柔軟さというか、しなやかさには驚かれる。先日、娘2人とスケートをやつた。2度目のスケートだったが、上の娘(6才)も下の娘(3才)ももう手を離して滑ることができるよにひつた。はじめは立つこともできないために、本当にびっくりした。「大人の3倍は早いなあ」と思つた。次はスキーに挑戦しようと思つた。19才になってから始めた先生よりは上手くなるだろ。

(母)

頤 列 漢

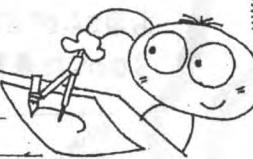
1999年1月20日

第32号

発行責任者：荒野

やっぱリ少しずつ成長...

11年1月13日 幸福第一好



花月が山田の不統一を口にす。万年首を下すが、
上りし夫い、街も出来て行く。夫
娘と祖父工人に食事の用意
私心の中では、父女子孫の運命が決
する代が祖父工人も娘に死んで。
从此から二、三日たつが、

初母のいっつも3ヶ月で、2ヶ月の血くらべ
が不順で3ヶ月で下痢と一緒に私を
おひきりきつい薬葉
娘のまつは薬葉が返って来ました。
これでも年齢の腹筋が引くほど文句を言
て下がらせてもう少しでいいよとしました。二人娘に
心から「ありがとうございます」と頭を押して下着をさせしか
DATEこの女を借りて「ありがとうございます」と言いつぶやいていた。
先生こんなで娘をやり成績生に休までも
お敷くお願ひです。

私はこれを読んで“ああ、いい親子だなあ”と率直に思いました。女の子がだんだんお母さんのようになっていくその姿が私にはとても輝いて見えます。外から見えない部分で大きく成長しているようです。

1月18日 正規の日記を見て和剣

今日正規の日記を見て自分もそういうことがあったのでついしんぱいになってしまった。僕も前に鳥を育てていてあまりエサを食べなくて次の日に死んでいました。正規の家の猫がはやくよくなればなあーと思いました。



いつもひざけ合ってた2人の姿しか見ていないので、こういう日記を読むと“ああ友だちっていいなあ”と実感することができる。友だちの心に寄り添うというのは和則くんのように共感することだ。友だちについてもう一題。

1/19 (火) 友達とは何でしょ。■

今日はちゃんと2人で学校へ来ました。昨日はえっかか
が休みだつたので、とても大変。いつもも2人でいたから、
1人ぼっちでも、昨日1日で、友達はいりきれりだ。と思ったら
全員1人ぼっちではなかった。朝は、"1日どうしよう"と思つて
いたら、ひつひつ話しがけてくれた。そして、その1日、えんのん
とひつととれいな。なれが朝、見つけていたエピカウソみたれ!!
ってな感じの1日でした。でも、1組は、やはりレインが
多いと見えますよ。あと、1組を約2ヶ月ぐらいです。
もっと、"友達"を考えてみようと思います。

「これも考へさせられる日記だ。いつも一緒にいる人がいないと淋しいものだが、そんな時近くにいてくれる人がいるといじ強い。逆に言えば、いつも近くにいなくて、いつもしゃべってなくたって友だち、というのではなくいた方がいいわけで、困てる時や悩んでる時に、そっとそばに寄ってきててくれればだけでいいのだ。

そのことに気づいただけでも 幸恵さんは 成長したはず”。エリカさんだけが 友だちでは ないのだし、いろんな友だちとも、といふことをしゃべってみるといい。今度、周りに困る人がいたら、何気なく近づいていけばいいし、そうすること“またたくさんの友だちができると思う。

小・中学校は友だちづくりの基礎も含む。勉強だけが目的ではないのだ。(地)

頗妙漢

1999年 1月 27日

第33号 発行責任者: 桟野

親の思いを受け止めよう!!

H.11.1.19(火)

大介の母

2年1組の皆さんこんにちは。

いつもお世話をなさってありがとうございます

あと2ヶ月ちょっとで学年も終りますね。

英語テストも終りバスケットの試合では3位になりました
頑張りましたね。勉強の方はそこそこでしたね。

息子と勉強ではそろそろ目をめて下さい。

道出しますが、出来ます。

中学生生活最後の1年はすぐ過ぎていきますよ。

スポーツも勉強も悔いのないよう頑張れ!!
友達は大切にして下さい。とにかく中学時代にしか出来ないことかたくさんあります。
失敗してもいいじゃないが!

ます道のりが大切ですね。

チャレンジそして失敗を恐れず頑張れ!!
これからもよろしくお願ひ致します

私もそうですが、我が子にはなるべく「転ばぬ先の杖」を用意したがるものです。私も自分が転んでばかりいたせいか、「我が子にはなるべく転んで」(失敗してほしくない)と思ふ気持ちが強いかもしれません。でも実は「転んだこと」が大変勉強になっていたし、たとえ転んでも親に叱られたことはありませんでした。我が子の失敗を心から失望し、その上叱る親なんてめたにいない(と思う)。

「子どもの失敗を唯一許せる」のが親というものではないでしょうか。だからみんなには失敗を恐れずトライ&チャレンジしてほしいと大介くんのお母さんは言っているのだと思います。そのことを感じ取ってほしい。



H.11.1.26(火)

下河部 麻美 母

子育てノートも3回目...和則君のお母さんと同じで書くといふのはおかしいです。皆さんの読むのは楽しかったですか.....

読んでいるうちに、年の差のある兄弟で結構いろいろな点が見えてきました。うち、麻美と弟とは10才ちがいます。赤ちゃんの頃は、おむつを取り替えたり、だっこしたり、お風呂に入れてくれたり、歩けがててくれて....でも最近は、弟の方をお口も運びやすくなっています(口がペラペラになら)まともにケンカをするんです。最初は、ふざけていろいろにお姉ちゃんの方も、ハイにならなかった....でも下の子は、半分たましいでいる様にも見えます。(まるで、楽しそうにケンカをするみたいで)遊んで、もう少し感じたのかな?...お姉ちゃんママがおこづかいで...おばあ見て、3方も思わず「ふざだしそう...なんて悪いかな?」

でも、弟に手を出されても、やっぱりお姉ちゃんは、口で言つて手は我慢して3押せ。 (負けて勝てで可かね) そうかと思つと、厨房の部屋で、弟とお絵かき?などなど....ある時は、お姉ちゃんある時は、お母さん様な麻美です。それは安心して、たのんで買い物に行ったり...ホント、助かっています。この場面で、いつもおつかとうを言います。これからもヨシヨシ....子育をしていくつもりでいます。という感じですネ....でも最近反抗期....中2でどうか時期かなかも...女の子だと反抗期はありますネ。大人になった時、中2位の時あたり反抗的だったよなんて話す時あと何年かで来ますね....学期も宜しくお願ひします。

私も先日、20歳になたばかりの教え子(女の子)の結婚式に行ってきました。中学を出て5年。まだ、あどけなさは残るもの立派な(きれいな花嫁さんでした)。あと言ふ間の5年だ、たなあと思いました。お父さんやお母さんはニコニコしながらも、少し悲しそうな表情を浮かべていました。

麻美さんのお母さんも同じような気持ちになるのでしょうか。

(担)

頑妙漢

1999年 1月 29日

第34号 発行責任者: 利野

挙動不審な日記とタイミングが悪い話

1/27

俊介

今日 消しゴムに毛をうえつけた。
するとすごく気持ち悪くなつた。
まるで生きものみたいだった。

相変わらず挙動不審の俊介くんです。実はこの前日の日記ですごい問題発言をしているので、今先生が質問状を出しているところです。(これは後で公開しましょう) それについても変な日記だ。

1/26 (火)

賀一

今日、そうじの日寺、真美君に「体育食官にきて」と言われたから体育食官に行、た。行、てから和正君と言話をしていくとこしき、さけけていた。そこに正智君がきてさけられてしまった。
反省言葉後、先生によはれて、「もう一回そうじいろ」と言われると思、た。しかし「校舎内のはがれているけいじふ、をなおせ」と言われた。そうじよりもくたどと思、た。かくすこしほずかしかった。

罰としてボランティアで掲示物点検をしてもらった。和正くんも同じだったので一緒にやつもらつた。2人とも頑張つてました。

さて、最近校舎を回つてみて何か気づくことはありませんか。ゴミやはがれた掲示物が目立ちます。先生も正直なところ黙つて見過ごすことの方が多いのですが、全校332名 664名の目で学校を見たらどうなるだろ。もっと違う学校になるんじゃないかな。

H-11-1-27 (火) 賀一

直後の12:00 文親の仕事の帰りを待つながら、半分眠りながら、29日記を書いています。

我が家は、只今、年子の姉の受験への走り合戦中です。
二の一年、娘の多験に付き疲れられ、家族は、ダメダメリードの時より多くなりました。

賀一、本人も、次は否応ないに来る多験という壁を越えなくてはならないでしょう。

私は娘の会話をやりとりを見て、自分は関係ないといった態度でいるに至りました。でも、その鋒先が自分に向いてくる。決まり文句は、田の字でからかう一言が一通りります。

口うるさい言めれることは、だれにも嫌な事です。でも、撐する態度が更にいい。あそぶ過ぎたお風呂のみ湯の際に、どうぞりと、設置になります。

お勤五宅ひはいかがでしょうか?

思春期の子を持つを言葉を遣つて、会話をしたり、
変に気がつかう自分自身を嘆かわしいと思う今日が頂です。

私はこの日記を読みながら本当にそうだなあと思うと同時に、このノートの本来の役割は賀一くんのお母さんが抱えているような悩みや不安をみんなで共有していくことなんだなあと思いました。

先日の報道では高校の学区拡大がほぼ決まり、石巻地区はどうやら本吉地区と一緒にになりそうな気配です。(まだ、答申段階なので正式ではありません) 平成13年度から実施したいと考えているようなので、この学年には直接関係ありませんが、もし弟さんや妹さんのいる家庭はその影響が出てきそうです。(少數ながら学区の相互乗り入れも認められるようなので、実質的には全県一区と考えいいようです。) 「多様なニーズに応える」というのがその主旨のようですが、実際には選択肢がたくさんある生徒は限られています。中教審(中央教育審議会)でも言われているように受験競争が緩和するのか心配です。(担)

頬 梅 漢

1999年 2月 1日

第35号 発行責任者: 桐野

〈ぜひ、みんなに考えてもらいたいこと〉

1/26

らくな日とつらい日

俊介

今日の授業は5教科が全部あったのでつらかった。
それにくらべて木曜日は実技教科ばかりだ。
なぜこんなに勉強する日と勉強しない日の差があるんだろ?と思つた。

俊介くんに質問します。

① 俊介くんに、実技とは勉強ではないのですか?

② 俊介くんが「勉強した」と思ふのはどういう時ですか。

① 僕にとっての実技は勉強じゃないというわけではないけれど、実技は五教科とちがて友達といいしゃしたりして楽しいから勉強をするという感じではない。

② 僕が「勉強した」と思うときは、わからない所がわかったときとか、長い時間勉強したことまでです。

ねづねづ答えてくれてありがとう。この頁に書かれていることはウソはないし、本音だと奥へ受け止めたい。されど、ここからもうちょっと成長した俊介を見つみたい。

今回はぜひみんなにも考えてもらいたいことがあったので、左に私と俊介くんのやりとりを原文のまま載せておきました。まずはじっくりと読んでみて下さい。



言葉の問題だと言ってしまえば確かにそうなのですが、先生はそれだけではないと思います。しかもそれは俊介くんだけの問題ではないのです。その問題を整理してみると、

- ① 主要5科目(国へ英)は勉強で、他の4科目は勉強ではないのか?
 - ② “友だちと楽しくやったり”“一緒にやるから”勉強した感じかしないのなぜか?
 - ③ (②の逆) 勉強の感じというのは一人で長時間やることなのか?
- etc

勉強というのは本来、みんなで楽しく何かを学ぶことで、その時一人で悩んでいるよりは2人、3人…大勢で知恵を出し合った方がよりいい案や解決策が見つかることは。だから俊介くんだってみんなで「イイイイガヤガヤしながらもお互いに何かを学んでいるはずなのです。でもその時、授業とは全くかけ離れた話(雑談や私語)だけに終始したのでは、本当の授業とは言えません。授業に熱中(集中)した中での雑談は、許されるはず”(ただし、先生が話している時は別だけど…)

それから俊介くんが言つてゐる事の中でうんと大切な所があります(今日の本題)。それは「僕が『勉強した』と思うときは、わからない所がわかったとき」と言つてゐることです。全くその通りなのです。ということはわからない所がわからないままならば”それは勉強(学習)は成立していないということになります。実はここがうんと大切なことです。わからない時はわからないとは、きり口に出して言つこと一これが勉強(学習)にとっては大切なのです。この基礎ができる人はこの先、いくら努力しても徒労(ムダ)になってしまいます。失敗は断言します。

“わからない時(所)は わからないとは、きり言えること”これが学習の基本です。“恥ずかしいから”“言いづらいから”何も言えないのがあれば”その人の成長は望めません。”わかったふり”をして、その場をやり過ごすのであれば”その人の成長はそこで”ストップ”してしまいます。今、この学級では”学習が成立しているのか、どうか…残り2ヶ月、点検してみて下さい。

(1回)

頃 梁 漢

1999年2月2日

第36号 発行責任者: 制野

世界最大級の「すばる」から考える

十七世紀後半の天文学は、望遠鏡の発達とともに発展した。一つの頂点が、一九四八年に米国パロマ山に完成した口径五メートルのハッブル宇宙望遠鏡だった。

十七世紀後半の天文学は、望遠鏡の発達とともに発展した。一つの頂点が、一九四八年に米国パロマ山に完成した口径五メートルのハッブル宇宙望遠鏡だった。

最初に挙がる名は、地獄から昇るボーランドのゴペルニクスなどが続き、十七世紀に入つてはイタリアのケラードやイタリアのガリレオの望遠鏡と並んで、天文学の巨人が並ぶ。

十九世紀にかけて目立つのは、周期彗星を発見したハレーや天王星を見つけたヘール彗星だった。

十七世紀後半の天文学は、望遠鏡の発達とともに発展した。一つの頂点が、一九四八年に米国パロマ山に完成した口径五メートルのハッブル宇宙望遠鏡だった。



宇宙観の革命めざして

2/1付
朝日
社説より

口径四メートル程度のガリレオの望遠鏡は、木星の四大衛星や金星の満ち欠けなどを次々見つけ、地動説に根拠を与えた。

二・五メートルのハッブル望遠鏡は、わが太陽が木星の川筋河系の端にあることを突き止め、似たような銀河が宇宙には無数にあることを明らかにした。宇宙が膨張し続けるといふ、それまでは想像もできなかつた発見も、この望遠鏡の成果だ。

「地球が宇宙の中心」と考えるのが当たり前だった時代から、私たちの宇宙觀は大きく変わった。

「すばる」の総工費は四百億円。国民一人ひとりが四百円ずつ出した計算には、人類以外の知的生命体が存在する可能性が一段と増す。

「すばる」の総工費は四百億円。国民一人ひとりが四百円ずつ出した計算には、人類以外の知的生命体が存在する可能性が一段と増す。

1/30付
朝日

ハワイ島のマウナケア山頂から初めて届いた。「星の便り」はなかなかのものだった。オリオン星雲の「星のぬりかじ」といわれる便箋が鮮やかに写し出されている。やがて誕生した星の素顔がどう見えるのか、夢がくらむべきの便箋されたのは、日本の国立天文台が建設した大型望遠鏡「すばる」の大活躍だ。

星雲の技術が結果としている米国のハッブル宇宙望遠鏡にひけないと性能としている。「すばる」は米国のコニング社に発注、鏡の研磨機はドイツのシース社、ドームの製作はカナダのゴースト・スチール社が担当、といったところである。べらべらの鏡を改造させずに、いかに支えるかが難問だった。二百六十本のロボットの腕で持ち上げてコンピューター制御する

ことで解決した。「精度重視」ことだ。建設が始めたのは九一年のことだ。「禁止する法規がなうこと」ために、予算を立てたのは九一年のことだ。

「すばる」は、日本が初めて、よその国に建設する國立研究施設だった。開例のないことにためて当局が

つ難関があった。一九八五年に計画が持ち上がった

技術分野である「あらびと」を出して借りたいといふ

「いや、文化は自ら担う」と小平さん(衆議院議員)が話す。立天合長(立天合長)たちの情報が

笑った。『總工費四百億円』といふ巨大施設をめぐりて、

国会議員や担当官と小平さん(衆議院議員)の間でこんな会話があり

た。「外國でもやってるのか」「ええ」「では、お金

を出して借りたいといふのか

「いや、文化は自ら担う」としてもらいたかった。星の

はハワイ語で「マガリイ」(小さな島)という。大学からすれば、すばる望遠鏡も小さな島だからが、人類の宇宙觀を変える大きさは

発見を期待したいものだ。



昨日、みんなに“考えてもらいたいこと”をお話ししました。わからぬ所をわかろうとするのが人間で、わからぬ所をそのままにしておくと人間はいつまで経ても成長しないことを話しました。

そして、話の中で「すばる」の話をしたので、今日はその記事を二題載せました。左の記事には天文学者や望遠鏡の歴史と宇宙觀の変遷が上の記事には「すばる」に関する技術のことやそれを建設・実現させた科学者たちの姿勢などが書かれています。

特に、上の記事中の小平さんの「文化は自ら担うところに意義がある」という言葉は「すしりと重みがある。

知るとは文化である。知ることは文明をつくり、文化を形づくる第一歩だ。「すばる」は日本人、いや世界中の人々や科学者の「知りたい」「わかりたい」という心の結晶だ。そういう心がなければ「すばる」は完成しなかつた。いくらお金があつたって「知りたい」という欲望がなければ何も成し得ないのだ。みんなにもそういう気持ちだけは、持ち続けてほしい。



そう言えば、教室に置いてある“Master Key-ton”的何巻目かにキートンの恩師の話が載っています。空襲警報が鳴る中でも講義を止めなかつた先生の話です。“人間はどんな時でも学ぶことができる”ということが書いてあります。ぜひ、読んでみて下さい。ちなみにその先生のあだ名は“アイアン・ボール”(鉄のこうじ)です。(担)

頗妙漢

1999年 2月 6日

第37号 発行責任者: 桐野

日本語のすばらしさを認識しよう!!

いつもお世話をになります。友美の母。

今度ノートが回って来たらこれを書こうと決めた
いた事が有るので手帳を書き事にします。

最近、テレビを見ていて前にもまして気になる事が
あります。

それは言葉使いです。

昔の手帳本からるべきアナウンサーでもか! もー!
と思うような言葉使いをしているのを聞くと同じ日本人
としてなんだかびきなくなります。

たとえば例を上げるとせんせんへでないという言葉です。
これは、本来はうちけいの意味で使われるべきものなのに
逆に肯定の意味で使われたりして。

それに、キレイでかっこよなど私が中学生の頃とは
かなり変化した言葉が多く、むしろ日本在住の
海外の方のいやうちのほうが本来の日本語の美しさを
持つてさような気がするのです。

言葉ってすばらしいですね。

でも使い方をまちがうと不相手を傷つけたりがなしませたり。
2年1組の生徒さんたちはどうですか?

私は娘たちにも、もちろん他の生徒さん達にも
日本語のすばらしさを“手帳”と認識して

はいいと思うのです!

だって、せっかく日本人に生まれたんで“すから”。

「全然」という字を調べてみると、一般に全否定(全くへない)の意味で使われるようですが、俗に「非常に」という意味にも使われるとも書いてあります(1981年、三省堂の新明解辞典)。

ただし、現在は「俗」の方が主になってしまい、私たちの感覚から「おかしい」というのが消えつつあります。“言葉は世に連れ”、ということでしょうか。

井上ひさしさんは、話し言葉の乱れはいずれ自然淘汰され、実際に使われるもの(有用なもの)だけが残っていくと言っています。それと話し言葉の変質と言っても、日本語の根幹を搖るがすほどの変質ではないと言っています。

先週、読んだ新聞(朝日?)にも「らぬき言葉」のことが載っていました。もともとこの「ら」は“可能”と“謙讓”という2つの意味があて面倒なものだとして、「らぬき言葉」を擁護していました。

(実は、最近はこの傾向になりつつあります)

それよりは(言葉よりは)“心”的問題の方が心配です。昨日、夜のニュースステーションの「最後の晩さん」というコーナーに山田洋司監督が出ていました。その中で渥美清さんが駅でキップを買いたいとされている時に、後ろから若い人に「おじさん、こうやろんだよ」と言われて買いたい方を教えてもらったそうです。ただその時の言葉の遣い方がうんとうさんくさそうだったことに渥美さんはひどくショックを受けたそうです。言葉そのものよりもそれを発する人の心の方が大きな大きな問題を抱えているのではないか? どうか?

高校時代、漢文の先生に“寸鉄殺人”という言葉を教わりました。“寸鉄(短い釘のこと)でも人を殺すことができる”という意味で、軽じてちょっとした言葉でも人を傷つけてしまうという意味で使われます。友美さんのお母さんが言っているように、日本人に生まれた限りはぜひとも日本語の美しさ、素晴しさに触れてほしいものです。そのためには“本”をたくさん読むこと、活字にいは“い”触れることが大切です。

(相)

頬 悅 漢

1999年 2月 8日

第38号 発行責任者: 利野

《コヤジくんの“決心”と栄・父の??》

2/5 相当 すがえ 父

<決心だけ...>

今日の合同朝会で僕は
『学年末テスト』に向けての「決心」
を発表した。(おーひづかしかった...)
そして、そのあと利野先生がこう言った。
『反省だけからサルでもできる!』
『決心。だけをしてそのあとに
反省をする...』ということか 10ターン
にわたって113人がいる...。

その言葉が僕の心につきささった。
(ああアッ!! いた!! ... !! いた!! !!)
まさに僕に対して言ってるような
ものだ!と思つた...。

「決心」と「反省」の繰り返しだけでは成長しない。その間に何をしたかという過程を考えなければいけない。できなければ(分からなければ)なぜそれができなかつたか、逆にできたならなぜできたのかをきちんと分析しなければいけない。「決心」と「反省」を交互に繰り返すだけだったり、何も努力してないのと同じだ。

だからわからない時にはわからないと言い、わかった時にはわかつたとはっきり言えばいい。ズルズルベッタリ、ナナアではダメだ。

3/7 (日)

久々回ってきました 子育てノート!!

例のごとく「おとうさん書いてけらへん この前
は私が書いたなんから...」と書約2年分のこのノートを見て思いました。初めの
うちはおとうさん文章を書くのがにがてでむずかしく考
えていた様子が感じられ、どこの親も同じだなと思
っていました。ところが、回を重ねるうちに、それぞれの家庭の様子、
考え方や表現豊かに文章につづられ、読んでいて樂
しく、又、子育てのヒントとして大いに役立つ「参考書」
に変身していた事に、おどろいてあります。毎回の利野先生からの赤ペンコメントは、「ふむふむ
なるほど」と腕を組んでうなずきながら読みせてもら
いました。この子育てノートは、実は「親育てノート」だったの
では? 利野先生??

さかえ 父

栄くんのお父さんの文を読みながら、なぜか私が最初にノートに書いたことを読み返してみました。そう言えば、以前どこかで「子育ては親育ちの過程だ」みたいなことを書いたなあと思ったので...

実はこのノートの役割は、親が親として育つその道すじを記録するものなのだと思っています。私自身人の子の親として大いに学ばせていただいてます。私も親として少しずつ成長してるような気がします。

それともっと大切なことは、私も親育ちの過程を皆さんと歩む中で教師として育てられているということです。私がこのノートを続ける理由の一つはここにあります。

学校や教師が真に地域の礎としてその役割を果たす—これは「先生」「教師」という仕事の宿命です。それを自覚できない教師は「先生」と呼ばれても「先生」ではない。「先生」というお面をかぶつただのサラリーマンになってしまふ。

(母)

頑妙漢

1999年 2月 15日

第39号

発行責任者: 制野

最近の子供たちに物申す!!

2/13 (土)

今度はアンタク番。女房にそう言われてペンを取りました。最近直人を見ていると、自分の中学時代と比較して見ることがあります。自分はこんなに勉強したかなあ。こんなに真面目にサッカーや駅伝(スポーツや物事)に取り組んだかなあと思へ。親バカなのが妙に感心して、息子が誇らしく思っています。私は息子二人に対していつも言つてるのは、とにかく悔いの残らない様に何事も一生懸命やれとだけ言っています。自分がそうであった様にとにかく、自分の出来た限りの力で一生懸命やれば出来なくても不思議に悔いの残らないものなのです。最近の子供達には、この一生懸命さが欠けて、どうにも思われます。(間違ってたらゴメンナサイ)今私は父ですが、この年になつても、一番思い出に残っているのは、中学、高校時代の友達の事。クラブの事です。この子育てノートを企画された制野先生の情熱ある指導のもと、このまま『一生懸命』頑張って悔いの残らない中学生活を送つてほしいのです。

直人の父でした。

最近の中学生(小学生)が弱いもの

- ① 忍耐力 … 耐える力、1つのことをやり通す力
- ② 表現力 … 自分の思いや願いを相手に伝えること(力)
- ③ 団結力 … みんなで何かを成し遂げる力

この3つは明らかに低下しているし、そう実感させられることがたくさんあります。特に、①は深刻です。私なんかは家が農家なので小4あたりで耕うん機をあてがわれ、子ども心中に「働くってのは大変なんだなあ」「がまんも大切なんだなあ」なんて思つたものですが、今の子どもたちは、

おめでとう!! バレー部 県大会出場!

2/14 (日) だんとう さちえ だいへーる。

祝!! 県大会出場だ!!

準決勝は矢本1でストレート負け。上位3チームが県大会で、青葉と3位決定戦。「せっかく勝ってリツにTEレしよう!」1セット目、みんな落ちついて万中。そして2セット目、「ここで勝った気になつたらおしゃりなげよ!」ひとつの一言。前半は万中がリードしてたりたけれど、だんだんくずれてきて、10点台の時にも、秋生先生が「ここでかんばるには負けだりだせ」と、と言われたけど、もう少し!! て時に笛がなってしまいました。1セット目だいと見つけてからはもうね。2セット目は…。表情も明るくなってきて万中のペースにのって万中勝利!! 笛がなったとたん「やったよ キャベ県下会だ キャベ キャベ!!」ホントに苦しかった。みんながんばったね。またリツにTEレしてリサさんかが何言ってくれのが分かりにくいくらいコーチンしました(笑) でも、バレーボール28人みんながんばった2日間でした。県大会もこの調子でがんばるよとして、先生方が車を出してくれた親のみなさんも、ごくろうさまでした。

秋生先生も代理ですごく燃えたようですね。これまでのいろんな努力が実を結び始めているようです。津田さんには何よりのクスリです。

『そういう体験が少ないのか、1つのことを耐えて耐えてやり通すということできません。放っておくと“水は低い方に流れ”。気がつけば後には何も残ってなかたということになりかねません。親の働く姿が家庭や地域から消え、後ろ姿が見えなくなつたといふ人もいます。

しかし嘆いてばかりではいけません。社会がどうなうと粘り強く、自分の信念を貫く、そんな強い人間に育てなければ…。

(柏)

頬 梅 漢

1999年 2月 17日

第40号 発行責任者：荆野

もうすぐ3年生！準備はOK!?

2/5 <もうすぐ最上級生>

今日は生徒会があって、3年生の会員会についての話だった。あと4週間くらいで最上級生になってしまいます。執行部でも新執行部になって、自分たちが先頭に立ってがんばっています。でも今では旧執行部がなつかしく思えます。この匕痕はいつも会長にたまっていたばかりでした。今はもうたまつぱりなんてことまでできませ。そんな僕もこの二年間ですごく成長したなあ。と思います。でも、まだまた子どもです。これからも一年間でどう成長していくのがなあ。と思います。高校入試をいう目標に向ってがんばっていきたいと思います。

早いもので2月も半ばが過ぎました。3年生も入試まで3週間を切りました。あと1か月で修了式です。

直人くんのように今までの自分や生活を振り返る時期が来ました。皆さんはいかがでしたか？ 日記を書くのもあと1人につき、3~4回だと思うので、その辺を中心に解説してみて下さい。

さて、直人くんは2期1年3ヶ月にわたって執行部をつとめきました。生徒会の裏方としてみんなを陰で支えてきました。人には言えない苦労がたくさんあったはずです。昨日もみんなが帰ったあと遅くまで残って「送る会」の準備をしていました。こういう人たちがいるからこそ万中は支えられているのだということを感じ取ってほしい。そして、一緒に成長していくほしい。

そういう意味でみんなは3年生になる準備はできていますか？

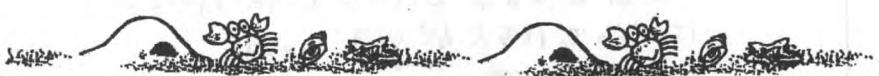
<祖母から教えられた宝もの>

2/5 (月)

お母さん、子育て一冊かい。「今台所の片付け終てからへ」「いいから何でも早く書いてて。金魚に手から抜くほうへ」と毎日机に机に娘…早くもひで祖母から5歳から今月は33歳になります。娘を私もおりやく娘のヤマト締めたり、片付けたり、収集などとにかくでき。少しむづかしい金裕が出てきます。時には夫の台所で立って料理を作っていました。娘達が喜んで食べ「お母さんうれしい」と言わぬばかりも何か温かいものが流れ、家族の絆を強く感じ私は娘も頑張ろうとやうやくあります。佳奈の人を思ふやうに優しい気持ちは、祖母から教えた宝物です。これが何よりも嬉しい気持ちです。

佳奈の母

お祖母さんの残したものは大きかったんですね。亡くなつて失ったものも大きかったけれど、逆に大事なものも得たのですね。お金やモノは失くなつても、人の心だけは形を変えながら残っていくのです。お祖母さんの死が決してムダではなかったというのかよくわかる日記です。佳奈さんの体の中にはお祖母さんの血が脈々と流れているのです。



私の家の物置には味噌部屋(ミソベヤ)があります。今はもうあまりないと思いますが、家では今でも自家製の味噌を作っています。モノの性質上薄暗くて、じめじめした部屋というのが相場です。家も例外ではありません。小さな子どもにとってはちょっと怖い(そうな)部屋なのです。

そんなこともあります。私は娘たち(3才と6才)がケンカをしたり、何かいたずらをした時に脅し文句で「ミソベヤに入れるぞ!!」と言うと、とたんにおとなしくなります。

そして、先日、下の娘が保育園で次のような会話をなさうです。

娘：お父さんね、おこると「ミソベヤに入れるぞ!!」って言うの。

保母さん：あ、そう。怖いね。咲ちゃんは「ミソベヤ」って知ってるの？

娘：うん。カニのミソとかいっぱい入ってるの？

保母さん：……。

どうやら私の家の味噌部屋にはカニが住んでるようです。



(相)

頑 め 漢

1999年 2月 19日 第41号 発行責任者: 利野

“学校でいいとこだなー”の日記

2/17 (水)

広輝

今日は、学校を休んだ。ただの体日が、遊び友達がいるから楽しい。だけど、今日は、みんな学校休み。

いっしょに学校いって、休みたい。

でも、休みも学校にいきたい。

休みじいっと思う。学校で、……いこうよ～。

学校はいろんな人の集まりだ。気が安まるのも疲れるのも学校だ。それでも家で一人ぼっちでいるよりはいい。一人いると自分が成長してるんだか、退化してるんだかわからなくなる。広輝の日記はいつもユニークで考えさせられる。

2月18日 しぶや先生 和則

今日は、じゅくが終って8時ごろにローソンの前の信号でしぶや先生が運転をしている車を見てしまった。そのときは赤の信号でしぶや先生は一番前で止った。

あのマユモはしぶや先生だとすぐにわかつてしまつた。

8時ごろなのでしぶや先生は、さんざうかなと思ひました。

渋谷先生は遅くまで残って君たちのテストを作っていました。まだ慣れていないから大変なのだ。和則くんの目も頭もどんどん成長してる。それにしても「まゆも」でわかるというのはすごいのだ。

2/18 みんながんばってるなあ 后川 正智

モラテスト2日前です。この学年は、みんながんばって勉強していいので、すごいなあへと思う。自分はがんばっている人にくらべると、勉強の量がたりないということは、自分で自分が何、ひいきのですか? なんとか順位を上げたいとか、点数をあげないなどのフレッシュなのがあります。勉強する気になれません。みんながんばってるなあ。自分もがんばらなくちゃというふうに思うようになります。

人を蹴落とすのではなく、鍛え合って向上していく…そんな雰囲気のある学年だ。中学生もけっこうがんばってるなあ。

2/18 (木)

真弥

今、僕はテスト勉強をおえて、この日記を書きながらリングを見ています。(PM 10:02) ちょっとはやいかなぁー。

「自」のまた、この「リング」がコワーカー! 日記をかいいでても、TVにまちがい見か…。先週の「リング」を見た時も、ベットに入りながら見ていたけど、後ろにいた「めか」によると、何回も後ろをむいていました。

ビビッタ所。

今も、ビビッテしました。

2日後には期末テストがあるのでこんなことでビビらないように残り2日みじかいいけどがんばるよと思ひます。

ビビッタ所。

(日記ではないよな…)

終わり

「ビビッタ所」というのはあまりにもリアルでいいなあ。ビビリながら書いてる君の顔の方がよほどビビリそうだ。

一昨日、2番目の娘が保育園から服と手を汚して帰ってきた。少しベトベトしていた。そして連絡ノートを見てビックリ。何と保育園の台所でいたずらしているうちに、「ごきぶりホイホイ」ならぬ「ネズミホイホイ」に引かかってしまったとのこと。その時の娘の言葉。「す・す・すす、(えーび・び・び・び・くり、し・し・し・した~~)」(母)

頃抄漢

1999年3月1日

第42号 発行責任者: 刑野

皆さんは娘や息子を信じますか?

3/25 裕輔の父

刑野先生 初めましていつも裕輔がお世話になります、私は仕事柄月に3~4日ぐらしが夜家にいないので「子育てハート」が消ることも今日初めて知りました。裕輔は自分に似ての人気な性格なので生活面や勉強面でよく妻に叱られていますが自分の中学生の頃よりはよほどしっかりした考えをもっていると思います。

この前妻に「もう弟に優しくしなさい」と叱られていきましたが裕輔は優しい子供です、ただ上手に表現出来ないだけだと私は知っています。

妻にあまり叱からないようにと言っていますが毎日子供と一緒にいていらっしゃる、妻の気持ちもわかります。

だから家にいる時はなるべく裕輔の味方に成ってあげたいと思っています。

今日三者面談で先生や妻に言われた事を裕輔成りに考えて進路を決めた様です。

これからも裕輔を信じて応援して行きたいと思います。

表現も大切ですが、もっと大切なのは"ハート"です。こちがなければどんな表現も美しくなりません。お父さんはその辺をよく理解なさっているのだと思います。ただし、これからもっと広い社会へ出る時には、もっと自分を表に出すことも必要です。そのための訓練もうんと大切になります。

"ドキドキ"なるほど...日記ももう少しだす。

2/25 担当 すず"スケ

<3者面談>

今日、僕は「3者面談」があった。

(PM 3:15 ~ だつた。(PM 3:00 ドキドキ))

僕はあまりにぎんちょしていいたので

だつた。(PM 3:00 ぐらうの時から)

待つていいた。(PM 3:05 ドックンドン)

僕は3、4番目ぐらうだつたが、

僕の前は15分間ぐらうあつていいた。

(PM 3:10 ドクドクドクドク) ←スピード上げる中

そのたれモ11分間がとても長く

感じた。そしてついに刑野先生が来た!!

(PM 3:15 ドッドッドッドッ...パンッ!!!)

その後はきんぢうもだんだんとあくなつて

きて、11,きに樂になつた。(終了後...つか...)

かねりつかれた「3者面談、だつた。

2/27 くわい

四文字熟語について山 記入者: 奈良のりゆく

ちやと前まで国語の授業が「四文字熟語」を習っていました。

今日も、国語の小テストのようなもので「四文字熟語」が出来ました。

私は、危機一髪やごろごろなどとのコトばくを口にしていたけど

授業を行って、じやせん種類が「あるコトを知りたい」という「耳を澄ませば

とか」された「語が「見るから」が、自説を述べるに同じ字で「見る...」とか。

しかも、四文字熟語のひとつにちやと、ろくへん、意味あります。

それからなど、などと思ふうやうにうつしのコトばくの用語を書いてあります。

<おまけ>

二人の日記は1つの出来事をぐうと煮つめて書いてあるのでなかなか読み応えがあるなあ。三者面談のドキドキ感や四文字熟語の意味がわかった時の感動がとてもよく伝わってきます。日記の書き方もだんだん様になってきた。残り4週間でどんな日記が飛び出すか楽しみだなあ。

(1)

頬 梅 漢

1999年 3月 2日

第43号 発行責任者: 刑野

〈超ハードな月曜日でした。〉

3/1

栄

今日は月曜日だったので朝会がありました。
そして、僕は、策檢の合格者として名前を呼ばれました。
（はじめはちゃんとへんじをじたうと思っていたのに。
いまは「見てみると声を出せなくて、なにせかくへん
じをしてしまった。そして校歌のときも声を出せず
何度も練習するなどしていることに気がついてしまいました。
やがてやがてしてしまった。もうこんなにやさしくはない
なつよい。つぎに歌うときは、1発でよからざれると
ようにならうと思う。

先生も嫌な思いをした。なんであんなにしゃかりきになってやらなければならぬんだろう。みんな普通にやればいいのに。一体誰のどんな声や言葉が気になるんだろう？“あいつまじめくさって”などと言う下劣な人がいるのだろう。そんな人の方こそ、よっぽど卑劣な人だ。歌う資格もない。歌わせたくもない。

3/1(月) いろんなものが“あった日だけ”

「ケーキを食べて物をもらひ」卓者皆エリカ

昨日ないしなくケーキを買ってもらひて食べた。（イチゴのショート）

そりやう今日親せきのがばくちゅうが“イチゴ”ショートを10個も買って来てくれた。
僕はちゅうと安てかきからだそりやうす。10個くじらに食べてしまいました。
よく考へてみれば今日は返事・校歌の練習をがんばったから。
マキトはさきとがんばった自分の“ほろび”だ。おひと見つけました。

私はいつもこんなふうに人生はけっこう平等かなと思って
思って生きています。（さきほんアシガの“新生物音が競爭だ”）
これはおたがいに当たっていると見えたのです。人生樂ありや音あり
【苦しいひとが】あるせり樂しいひとが倍に競争し、樂しいひとが
【あるせり苦しいひとも乗り越えてるんだ】と見ています。
今日はほんとうに生きておきたあと見つけた。こんなささいなことでも
幸せに競争のついいひとがいると思っていましました。
（自分が何についてるのかわからずケーキおいしくさいむわ。）

2月1日は昨日、放課後 体育館で1時間30分、み、ちりと返事と校歌の練習をした。4時頃、聞きに行ったらもう歌はすくなっていた。男女が体育館の端に分かれて、お互いの声が届くようにやっていたようで、学級委員も気合が入っていた。来週が楽しみだ。

3/28 (日)

勉強した

今日は、日曜日、いつもだと、ずっとコロコロしている
けど、今日は、ちょっとちがった。夜、夕食を食べた
あと、部屋に行ってTVを見ていたら、なにげなくつぶえ
を見てしまった。少しだけど勉強した。日曜日だと、
テストが近い時、いかがり、せったり勉強しないのに、
なぜか勉強した。でも、勉強したあとすごく
気持ちがよかったです。

机が真跡くんを呼んでたんだよ。それは、テスト前だけ、こき使われて、
きっと淋しかったんだ。“どうせ、俺らは使い捨てだ”。用なければ
ただの箱。あ～ご主人様、早くこっちを向いてくれー！と思っていたかもしない。みんなの机もたぶん同じだ。



先日、上の娘の学習机が届き、さっそく私の机と並べるように備えつけた。娘は棚の上にお気に入りの「魔女の宅急便」などを入れて、お気に入りの様子。今は毎日、机に向かってノートに絵を描いたり、本を読んだり。「お利口さんだ」と思ながら、ふと机の横を見るとプリクラのシールが貼られていたではありませんか。お

頬妙漢

1999年 3月 4日

第44号 発行責任者: 楠野

手を上げて答えたたら気持ち良かった!!

3月2日

三浦 大介
今日朝の会の時に先に席を立つ先生が成績の事について言っていた。それはテストの点数だけではなく授業中の態度とかでも成績が上がると書いていた。僕は社会の時居居しかの時にせきとくに手を上げて答えて見た。そうしたら気持ちが上がったので今度からもせきとくに手を上げたりしたいと思う。

成績というのは、テストの結果だけで決まるものではない。普段の授業への参加態度や姿勢、提出物、宿題、挙手の有無 etc. 先生たちが評価する規準はいろいろあるのです。テストだけで判断するならば「先生などはいらす。コンピューターだけあればいい。」

しかし、それでは味気なさすぎる。人間味のない評価、冷たい評価になってしまいます。それよりはもっと温かく血の通った教育、授業、評価の方が君たちも納得するはずだ。それともテストだけで判断してもらってもいい? そんなことはないはずだ。

授業っていうのは、先生と生徒が心を通わせる場、コミュニケーションを深める場、しっかりと学ぶ場だ。

わからない時には“わからない”、わかった時には“わかった”と気軽に、しかもはっきりと言える授業…そんな授業が本当の“授業”だ。これは9割は先生方の問題だが、残りの1割はやっぱり生徒の責任だと思う。

お父さんの相手もなかなか大変!!

3/2 [火] 【家族のコトについて】

今日はいつもどおり、家族について書きました。お父さんは毎日毎日けんと【お父さん】と戦っています。ちよつと前にはお父さんの“めんつうがひげ”がはえてる所からへりこむのをチラ見してしまいました。もううんあダメークもハナニガツでハニケツ自分も、お父さんのヒゲで手をチセつけてしまつた。こういう戦いで毎日つかれています。でも私は、こういうミニケージヨニフラク そらいうのアリあるから家族ナービキ私は鬼うろ ミニケージヨニガリない サラ家族じかナイつてコトシ“かナイクト”私はどうやらかといふは“こうやって、会話したり日本語が家族の感じがします。

コミュニケーションの中で最も大切なのは“表情”だそうです。言葉よりも何よりも“表情”が“物を言う”のだ。表情が豊かな環境は豊かな表情を育てる。郁恵さんの豊かな“表情”は、そんな家族が“育くんだ”的かもしれない。



先日、TVで動物園の象が映っていた。“そう言えば、一昨年、奥さんと上の娘2人が上野動物園に行ったけなあ”などと思いつつ、娘たちに話しかけた。

私：そう言えば、ずっと前、上野動物園に行ったけな。結ちゃん(上の娘)、何見だんだっけ?

結：パンダ!! パンダがウンチしてたんだよね。

私：そう! よく覚えてるね。ササも食べてたんだよね。

すると下の娘の咲が。

咲：ううう。そんでモッテ シタノ動物園にも言ったんだよね!!

私：……。動物園には物心ついてから連れていった方がいいようです。(母)

頓 刃 漢

1999年 3月 5日

第45号

発行責任者： 刑野

=ホンモノのトチカンは誰だ!?=

3/4 五九九九行 七分(13.) 一 三種唐

今日は3年生を送る会がありました。先輩方は

「おれそろそろ悲しき手でいた。」十七万円に19%

セモアは(ハーヴィー)。 話は水曜日に遅のま

ますが、この時放送で「給食を放送室に運

子 所以(十三、二年)組の3万枚で、2組(?)の男子

→ まわりに何か事件が起つた。それは何で

アリスは「おまえが今何を行なう時、」

男子 A,B,C,F,G,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q,R,S,T,U,V,W,Z (자리수)

では“やつは”です。かたち私の方手に(ガタ)は

おまけにこの時、アバウトは「アムーズ」を1つも持っていない。

（ア）時、期の契約を

• $\theta = \pi/2$ \Rightarrow $\sin \theta = 1$, $\cos \theta = 0$

Thank you for your time and support.

この問題は、「の問題

最近、廊下を走る人が多くて、先生も毎日のように注意して歩いている。つい先日も、ふざけていた男子が、ピロティの金網入りのガラスを割ってしまい、病院で治療を受けたばかりだ。どうも落ち着きがない。大きい事故につながる前に、自制してほしいし、せめて2人のみんなには注意する方になってほしい。これだけは、ぜひお願いしたいし、それが、結局は自分たちのためなのです。

= ブラバン存亡の危機!? =

3/4 (本)

「3年生を送る会」

No 2.0 Mi

今日3、4時間目に3年生を送る会があった。私は"ラバーンなので"みんなよりさきに体育館に行った。私は、このごろいろいろな仕事があって部活動には、少ししか行けなかった。だから、今日の3年生を送る会での演奏は、ハセ自己だった。いよいよ3年生が入場していくと思って、楽器を持ってまっていてして私たちの演奏で3年生が入場してきた。私はドキドキした。このまま、まちか"えす"に最後まで、いけばいいなあーと思っていた。

3年1組が入場してきて、吹きながら
3年生の方を見ていたら、昔をまちがえて
しまった。すっごいはずかしがった。
たぶんさすいた人はいると思つた。
私は、卒業式の時はこんなまちがい
はしないよーにしようと思つた。

たった9人の演奏はさぞ大変だったことでしょう。かつてはたくさんいたブラバンも今は9人。存亡の危機を迎えてます。来年は何とか大勢入ってもらえるようにしないと。みんなで協力ましていこう。



今朝、学年集会で恥かしい先生の通信簿を紹介した。成績はごく普通なのだが所見欄がすぐった。すまじいくらい良くない。はっきり言って悪い。よっぽど問題だ、たらしく、所見だけでは言い尽くせないという感じだった。しかし、あれ見て自信のついた生徒が増えねば万事めでたし。
(担)

頬 湾

1999年 3月 9日 第46号 発行責任者: 利野

渋谷ヒニセイの“クセ”と“いい人の話”

3/5 渋谷先生 正智

社会の時間、しぶや先生を見ていると笑ってしまう。最初は、「今日は、208ページだな」といつも、だなを最後につけた。なのに、まゆ毛は動くし、チヨークの粉をほろろのがすごく長いのだ。パンパン、パン、パン、パン、パンおわるのが、ついでにしぶやさんのもじうい、黒板に書く漢字もいつもまちがえて、床に、こういう細工するから気をつけよと言ってくる。教科書読む所は自分で“あてればいいのに、くちびきで決める。社会の時間はほんとう楽しいです。

渋谷先生はなかなかセンスがある。教師としてのセンスだ。前の職業柄かサービス精神が旺盛だ。味のある教師になるだろう。

3/6 日野 いい人

今日はたまたま文具を買ひに行つた。しかし、かんじんのお金を忘れてきてしまったので、どうしようかと思った。けど、そのとき店員さんが「待つてから取ってきていいよ」だかそういうことを言つてくれたので助かった。いい人だなあと思った。ちなみにこれはそのとき買ったペンで書いた。いいペンだ。

信用してもらうというのは気持ちいいことだ。店員さんは日野くんを見て「この人なら大丈夫」と判断されたのでしょうか。人は見かけだけでは判断できないけれど、誠実さというのは自然に振る舞いに出るものだ。

3/8 卒業式の練習

今日5、6校時に卒業式の練習があった。卒業式の流れをやって、歌と歌を歌つた。最初のうちは、せんせん声がでなかつたんだけれど、時間がたつにつれみんな声が出てきた。おれたぬ卒業式の練習があるのです。今日よりももう少し大きく声がたいせようにならんねりたいです。正規

いよいよ明日は卒業式。今日は、1、2年生もとても立派でした。明日は形だけでなく、ハートで3年生を送り出してほしい。来年はいよいよ君たちの番だ。



先日、3年前受け持ったクラスのクラス会に呼ばれていてきた。もう18歳だから結構大人っぽくなっていたし、何よりも精神的に成長した姿を目の当たりにして嬉しかった。

例えば、S君。某高校へ進学したが、間もなく中退。その後、アルバイトで生活中。しかし、そのアルバイトの中から貯金(車を買うため)し、同時に家にも数万円入れているとのこと。“先生は1番だ”と言っていたが、先生よりもS君の方が偉いなあと思った。

同じくT君。某高校を卒業して、東京の専門学校へ行くことになった。彼は最初、地元へ就職するつもりだったが、夢が捨てた不會ず東京へ。しかし、その先が偉い。“親には迷惑をかけられない”というで新聞撰学生として入学することにした。これは学費を新聞の会社に出してもらうかわりに、2年間朝と夕方、新聞配達をするというものだ。ちなみに朝は毎日、午前3時起床、夕方も学校が終わりしたらすぐに働き始める。休みはほとんどないので帰省もできないとのこと。

そして、K君。“先生、就職ないですか？”彼はまだ就職先が決まっていない。それで“もう独り立ちしね、けね、ちゃ”“親にはもう頼れない”と言っていた。

そんなみんなに共通しているのは明るく前向きだということ。この先行き暗い世の中をたくましく生きぬいてほしい。私は当時の学級通信の号外にそう書き、一人一人にわたした。成人式での再会を約束して。

(母)

頬 悅 漢

1999年 3月 17日

第47号 発行責任者: 刈野

みんなの日記もこんなに成長しました。

3/16(火)

三浦千有

今日数学の時間にプリントを
やって分からぬところかあがた、
分からぬところを友達とかに
教えてもらって分からぬところ
か分かって問題かとけた時もの
すごく気持ちがよくて勉強を
したいという実感がしました。

もうすでに教科書が終った教科もあるようですね。残り1週間、悔いの残らないよう授業に励んで下さい。

さて、最近、三浦くんの日記の“質”が変わってきた。場面の切り取り方がすごく深くなってきた。1日の出来事の中から一場面を切り取って書くのが日記。その切り取り方、つまり場面を見つめる目がすごく高まってきた。ちなみに三浦くんは5月25日の日記に「書くことがない」という日記を書いてきた。それに比べれば“何と成長したことか…。物事を見つめる目が育ってきたのだ。

それと問題が解けて「気持ちいい」という素直な表現も先生にとっては嬉しい。分からなかつたことが分かって何も感じない人はいない。それにすぐ“に何でもバッパッと分かる天才とか秀才と呼ばれる人にはなかなか分からぬ感じだと鬼う。苦労しながら解こう、答えを出そうと努力する人にしか感じ取れない気持ち良さだ。3年生になっても、この気持ち良さが味わえるといいな。

3/16(火) 王王日記

もう2年生もあわりです。といふことは
王王日記ともあわかれ? なうがもれたり。
1年生の時は王王日記が“よがつてがる”
“よりてよこされつけきよビハズム感”
で書いていたりがせん? “がり”は“がり”
ケド、たん“がり”でいくと なれてきてその日
の出来事が“スグ”頭にうかんでくるようにな
ってきてた。王王日記とは“がた”んあまり
しゃべらねいと“も”これたあれをもっていみ
れた! と 4年たつて つづかる役割をしてい
れた! と思いまして。

+ 当 → かば

日記の良さ、面白さ、奥深さをうまく表現している。初めて日記に取り組んだ人にとっては、何だか得体の知れない、面倒なものでしかなかった日記が少しずつ根づいていった様子がよく分かります。この日記を読むと、毎日の生活がただ“目の前を流れていたのではないこと、普段はあまりしゃべらなくて何を考え、どう行動しようとしているかがわかること、そんなことがよく伝わってきます。



2年生も残す所、1週間にになりました。2の1ももうじき解散です。残された日々の中で1人1人の成長をもう一度確認できたらいいなあと思っています。最後の日記はみんな気合を入れて書いてほしい。

さて、先日、本校OGのHさんが2の1を訪れ、“私にとての高校生活”“これから私の進路”について話をてもらいました。高校時代はバレーボールに明け暮れたこと、その中で仲間の大刀や人の優しさに触れたこと、そして今後は福祉の道に進みたいことetc 先生も昔のことを思い出しながらしんみりとした気持ちで聞いていました。3年生の時、彼女は合唱コンクールの伴奏をやって見事、金賞を取りました。彼女は当日の朝、まだ9月だというのに手袋をしてきました。万が一のことがあつたら大変だと思い、念のため手袋をして指を保護してたのです。そんなことを思い出しました。(柏)

頑妙漢

1999年 3月 18日

第48号 発行責任者: 楠野

お母さんの仕事は大変だ!!

3/17 (水) お母さんの大変げ。

うちのお母さんは、今東京に行っています。その割りにあたらしい家のごとくをしています。いつもなら、お母さんがいるのに、いなといとやつぱり、ソズムカ"くるります。

ごはんをつくるのも忙いし。(信じられないけど)お父さんとも兄ちゃんのごとくせんをつくります。お母さんは、いつもはよくあきこいろいなによことをします。さうじをしたり、朝ごはんをつくったり。それから、すぐ"仕事の大変だ"たまごと聞きました。

お母さんの仕事は大変だ"と思いました。でも、これから大人にならんだから、大変だなって言えないなあと思いました。のどみ。

お母さんの仕事って本当に多いんだ。見えない所での仕事もたくさんあって大変なんだけど、それをあまり表に出さないところがえらいと思う。特に、冬の朝なんかは寒いのに早起きをしてご飯を作ったり、洗たく物を干したり…。先生なんかはそれに甘えて何もしないけど、この日記を読んで"何かしなければ"と思う。明日から早速実行しよう。

きんばあさんがらのお便り

3/17夜

私たる藤英美り、祖母でござります。英美が"何時もお世話様でございます。英美がふるくを飲んでいる顷から育てま(たりて)"あの子の性格がよく解ります。健康で元気良く自分なりのよき遊んで"り、自由に行動したりお子供でした。3月17日で"したか、私にして今までに忘れ3事の出来事と起きました。それは交通安全週呂で"渋滞の鏡面隊が行進して来たので見せに行き、家の先を通過したりで、帰ろうとしたら往き思ひ出したりか。1日散にひざひ身体で走り出たので私が英美をと云つて追かけければ追かけろ程、つまび国道をひたりて"車道におりれりて"ほかと思ひ誰か、その子供を。おさえて下ださりと手を上げてさけんでも車の音で"聴こえた笛(エアリ)ませんで"した。私もハサウエとあせりて腰が"痛(タマ)りになり、車に追まなつてしまつたりです。そしたら、私が"心配して(いた通り)赤の信号を全く無視して只々走つて行かれたりです。運良く車量も少しだが無事だった(アッヒ)し心配と安心した私は10年経つてお忘れられませんでした。今は7面相の芸を作り家族笑うわせているのです。何の因見せられても大笑いで"おなかがねじれら後です。笑う事はよい事ですが"勉強の方にか遠いで"おもいにと老母心で"ハレ配してあります。これからもようくおねがいいたします。(さんばより)

これは本当に嬉しい日記です。お祖母さんの孫への愛情がにじみ出ています。家にも0才、3才、6才の子どもがいるので、何かにつけて気を使います。特に、事故だけは本当に怖いです。

上の娘は3才の時、茶の間の網戸ごと外へ転落したことがあって、その時は頭の中が真白、気が動転してしまいました。急いで仙石病院で検査をしてもらいましたが、翌日には目の回りが真黒になりました。今でも冷や汗ものです。

みんな同じような経験をしながら大事に大事に育てられたんだと思います。親のみならずお祖父さんやお祖母さん、新戚、兄弟姉妹、地域の方々、みんなに大事にされてここまで大きくなったんだ。この日記からはそんなことがよくわかる。志摩さんはつくづく幸せだなあと思いましたか?

(中)

頤 利 漢

1999年 3月 19日

第49号 発行責任者：荆野

学級納めまで残り5日になりました。

・新川友美 3/17(水)

今日はどういう訳か頭が目茶苦茶痛がった。笑ひながら！ と痛くなったら
ばから部活は休んだ。

いつも同じ「サボリでも～、とか」はうのに、寂しき情。や漢歌然て、もじた本山がを
詠んでいたり何ひとつ「ヒミツ」、何ひとつ。

都清津とかは早く帰って寝て、と聞うんだだけじゃなくて、不思議だね。

友美さんにとって、何がどんな1年でしたか？単に楽しいとか、つまらないとかじやなくて、友美さん自身が成長できたか、どうか…それがこの2つの1の評価になるのだと思います。残り4日ですがじっくりと振り返ってみるのもいい。

A decorative horizontal border consisting of a repeating pattern of stylized, rounded shapes, possibly representing stylized leaves or petals, arranged in a continuous line.

毎年、学級通信は、子どもたちの作文や日記、父母の日記を中心とさせていただきました。今後もどうやらその目的は達成されそうです。

この「頑珍漢」はその名の通り、学級の中のトシテンカンを大切にしようと思つて名付けたものです。之の1は私の予想をはるかに上回つて成長しました。生活面、学習面ともに前向きで取り組むようになり、担任がすばらでも自分たちで何とかやっていける、そんな学級になりました。私にとっては何よりも嬉しいことです。

これに甘えず”3年生になつたら もっと高いレベルの目標をもつて着実にクリアしていくほししいと思います。

3/18 担当 す"す"スケ

オレの名は 裕車甫^{ひろくるふ}。しかし、それは 小さな
ときまでの話^{はなし}。中^{なか}のときは、" ゆーすけ、
だ、だ"。そして現在は " すず^{スズ}ケ^ケ"。
そう。口言ひとの出会いは中^{なか}のときだ。た。

筆刀めは イヤで イヤで 立てなかがら 曰記を書いていた
が、中1の3学期ごろに1回、また書くのは

苦手なものの、人の口言ひをうすんで、言葉もようにな
はなっていった。。。 (だってさ。すもういんや。)

中2に於いて、未だ日記を書くことがあっても、豆原の中2「ペートーベン作曲の『運命』」

アリビタリーハテ、（タタタタタタ——ンガ）

こうあることは“運命=死んだのか”…。と思つても

また、あいだ人の日記も読むやうになつた。

思ふと毛豆る。(アカリと云は別だ"アリ"?)

そういう意味では、もう3年生になつて日記が
なくなつたら、新しいふうな気もする。ううんないふうで。
この2年間、オレはきっと日記を書いてさたが。

今日が一巻長い文章かもしだれか!! 。。。

先生の記憶から言ってもたぶんこれが1番長い日記だと思うよ。裕輔くんはあまり自己表現が上手ではない(と思う)。どちらかと言えばじっと静かに物事を見つめ、自分のペースで処理していくタイプだ。だから必要以上の自己表現、自己主張はしないのでしょう。

But、日記だけは違う。こんなに生き生きと表現できるのだ。それは友美さんにも言えること。日記の中で泣き、笑い、楽しみ、悲しんだ人は他にもたくさんいる。それを充分に發揮し、交流できる場が「日記だ」としたら、こんなに嬉しいことはない。それを受け入れる雰囲気があるということがなのだから。(想)

頑妙漢

1999年 3月 24日

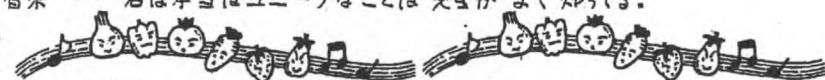
第50号 発行責任者: 楠野

〈みんなのこれまでとこれから〉

授業日数223日。これが今年度みんなが学校に通った日数です。何と多くの時間を共に過ごしたことでしょう。振り返れば思い出の1つ1つが又の1の歴史となり肉となりました。そして、1人1人も着実に成長しました。

- 和則一 君は根が真面目。もっともっと頭と体を鍛えなさい。
 賢一 ぐんと大人になりました。大人のリーダーになってほしい。
 俊介 いい感性をしている。今はまだダイヤの原石だ。も、と磨け。
 阿祐一 沈黙は金。でも話さないと相手に伝わらないこともあるんだぞ。
 栄一 文化祭でのギターはかっこよかったです。何でもいいから腕を磨け。
 雁祐一 ラグビーとホッケーで培ったものを3年になたら試しなさい。
 直人一 3年にならたら自分の足りない部分は何かをよく考えなさい。
 崇一 野球は9人のスポーツ。学級も同じ。良いリーダーになりなさい。
 広輝一 自分の力をどこで、何に対して発揮すべきか、きちんと判断しない。
 裕輔一 "努力"の意味を考えなさい。 "努力"することも才能の1つなのです。
 裕哉一 そのまでいい。でも自分で変わらなければと思つたら変わりなさい。
 勇太一 君は1人で生きてるわけじゃない。人の関わりを深く考えること。
 真美一 2の1では君が1番中学生らしかった。1番子がかかった!?
 正智一 短気は損氣。正義は善。その折り合いをうまくつけなさい。
 正規一 不器用さを恥じることはない。それに背を向けることの方が恥だ。
 和正一 物事の尺度は楽しいか楽しくないかだけではない。わかる?
 佑亮一 こちらが心を開けば相手も心を開く。友だちへの第一歩だ。

- 和仁一 意見を受け入れる側から発信する側になりなさい。
 信義一 明けない夜はない。そう信じ続けることが大切だ。
 大介一 百聞は一見にしかず。何か1つでもいいから成功体験をしなさい。
 真亦一 自分の限界をつくるのは誰か? それは自分だ。
 阿麻一 自分の笑顔に自信をもらなさい。いい笑顔なんだから。
 幸恵一 自分のためならいつでもできる。人のためにはなかなかできないものだ。
 ひとみ一 バレーは君にとってビタミンヒーリング。なくてはならない。
 反美一 個性というのは百人百様。人と比べるものでもないし、優劣もない。
 エリカ一 思ったことはあまり心に閉じ込めず、時々、外に出しなさい。
 佳奈一 言葉は生き物。自分を離れて一人歩きすることもある。
 遠望一 君の信条は"努力"。 "努力"の方向さえ間違わなければ必ず成功する。
 やす子一 よく聞く耳とよく考える頭。人間の大好きな武器だ。
 小麻一 時々、一人で別の世界へ行っちゃうけど、大丈夫?
 梢一 水は低い方に流れる。鯉の滝のぼり。君はどう?
 郁恵一 自分の力を過小評価するな。やれることは何かをうんと考えること。
 のぞみ一 現実から逃げることはいつでもできる。その道は難しい。
 真奈美一 目に見えるものから目に見えないものを見つける力。そういう力がほしい。
 英美一 そのまでいい。もっと大きくなればなおよし。
 沙稚志一 人の信頼というのはさもないことで得られるもの。肝に命じて。
 紅理一 ごはんをいっしょに食べなさい。ごはんは心の栄養だ。
 平望一 いつでも最終決断は自分でするもの。責任も自分で取るしかない。
 智栄一 君は本当はユニークなことは先生がよく知ってる。



この頑妙漢もめでたく50号で終わります。途中、くじけそうになつた時もありましたが、それを支えたのはみんなが書いてくる日記とお父さん、お母さんの声でした。学校や子どもの様子がよく伝わったかどうかは疑問ですが、この通信が眞の力を飛躍するのはもっともっと先の話です。そのためにも時々3月まで出して見ておいて下さい。今よりはよくわかるはずです。

(母)